

新春特集

建築士会大会由利大会特集

2024.1

No. 161

あきた建築士会ニュース



国指定重要文化財「佐藤家住宅」 大仙市内小友

一般社団法人 秋田県建築士会

国指定重要文化財「佐藤家住宅」 大仙市内小友

仙北建築士会 青年委員長 松塚 智宏

1. 指定年月日：2022年12月12日
2. 所在地：大仙市内小友
3. 所有者：個人
4. 構造・形式：
 - ①主屋：帳場棟、台所棟、納戸棟、座敷棟からなる 明治
帳場棟 木造、建築面積 124.78㎡、二階建、金属板葺
台所棟 木造、建築面積 283.04㎡、一部二階建、金属板葺
納戸棟 木造、建築面積 104.12㎡、一部二階建、金属板葺
座敷棟 木造、建築面積 206.50㎡、一部二階建、金属板葺
 - ②文庫蔵：明治／1901
土蔵造、建築面積 98.00㎡、二階建、金属板葺、北面下屋附属
 - ③味噌蔵：明治／1881、1905 改築
土蔵造、建築面積 127.04㎡、二階建、金属板葺、南面便所附属
 - ④米蔵及び検査所：明治
米蔵 土蔵造、建築面積 139.50㎡
検査所 木造、建築面積 77.37㎡、二階建
米蔵及び検査所 金属板葺
 - ⑤大工小屋：明治／1898
木造、建築面積 92.18㎡、二階建、金属板葺、西面下屋附属

令和4年12月、佐藤家住宅の主屋などの近代建築群（計5棟）が国の重要文化財に指定されました。

佐藤家は、江戸時代から主に山林経営を行い、明治時代以降は田畑の集積を拡大して大地主となりました。現在の屋敷構えは、明治29年（1896）の陸羽地震の被災後から約10年をかけて建築されています。このうち、明治31年（1898）～35年（1902）にかけて建てられた主屋は、帳場棟や座敷棟等を機能ごとに独立棟で建てて「口」の字型に配置し、豪雪地帯にありながら廊下で中庭を囲む構成となっています。また、トラス構造を用いた小屋組で天井の高い大空間を実現している点、紫檀や鉄刀木、黒柿などの銘木を惜しみなく用いている点など、近代和風住宅の特色をよく示しています。

（※写真は、大仙市文化財課より提供、文章は文化庁、大仙市ホームページから引用させていただきました。）



主屋帳場棟



主屋座敷等



主屋座敷棟 前座敷 欄間

目次

新年を迎えて	年頭のご挨拶……………一般社団法人秋田県建築士会会長 淡路孝次… 2 年頭のご挨拶……………秋田県建設部建築住宅課長 金沢克己… 3
由利大会	第45回一般社団法人秋田県建築士会大会 由利大会 ～一般社団法人秋田県建築士会 創立70周年記念大会～ …… 4
令和5年度 優良建物見学会	……………10
まちづくり委員会	「第12回まちづくり賞」応募活動のご紹介……………まちづくり委員長 小原正明…12
青年委員会	全国大会の青年委員会セッションを終えて……………青年委員長 熊谷昌剛…14
女性委員会	令和5年度 東北ブロック女性委員会 あおもり大会に参加して テーマ：女性建築士がつなぐ未来への懸け橋 ～東北女性建築士の活動と、八戸に新しい風を！～ ……………仙北建築士会 鈴木有扶子…15 令和5年度 福島県建築士会「第34回女性建築士のつどい」に参加して ……………女性委員長 清水川道子…16
全国大会しずおか大会	第65回建築士会全国大会「しずおか大会」報告 より高く、より深く、語り合おうこれからのローカル 歴史と文化の承継 ～ローカルに生きる～……………17
投稿だより	あきたヘリテージマネージャー協議会総会 横手市増田伝建10周年シンポジウムについて ……………横手建築士会会長（あきたHM協議会会長） 鈴木博実…22 旧仁鮎小学校解体……………能代山本建築士会会長 大高 勇…23
会務報告	……………24
地域会だより	……………25
誌上年賀	……………31
新入会員紹介	新入会員からのメッセージ……………47
事務局だより	……………47
定期講習会	建築士定期講習のお知らせ……………55
編集後記	……………56

年頭のご挨拶



一般社団法人 秋田県建築士会会長 淡路 孝次

秋田県建築士会創立70周年記念 全県大会由利大会開催される

新年明けましておめでとうございます。

昨年9月、近角会長のご臨席を得て秋田県建築士会創立70周年記念の全県大会を由利地域にて実施させて頂きました。皆様ご存じのように、全県大会は青年大会から発展した大会となっており、これまでと同様東北ブロックの青年委員長はじめ、開催地の県地域振興局長様や市長様・議会関係者など多くのご来賓の皆様のご臨席を得て開催され、70周年大会にふさわしい盛り上がりを見せた大会でありました。主管された由利地域の会員諸氏には心から感謝申し上げます。

70周年事業のもう一つが記念誌の発行であります。全国大会あきた大会開催にあたり過去の50周年記念誌の存在が私にとってバイブルとなり、大いに参考になりました。それ故、士会の歩みを記した周年誌は後進の方に有益であり是非作成すべきものと思っており、現在会員諸氏のご協力を得ながら、事務局の精力的な働きにより今年度3月中の発行に向け現在編集中であり、期待頂きたいです。

ところで一昨年の全国大会開催時に「全国大会あきた大会が成功か否かは、全国大会を契機に8地域会が今まで以上に地域住民や地域行政と連携が図られることによって判断したい」と述べておりましたが、それが全国大会開催意義に繋がることと思っておりました。

その意義を実感できたのが昨年でした。その一つが地域会総会時に多数の行政関係者と共に初めてご臨席頂いたある首長様より今後とも必ず出席される

とお話を頂けたことがありました。またさらには士会事業に参加される会員が増えたことであります。特に昨年の全国大会しずおか大会に秋田から過去最大規模100名に迫る会員が参加され、会員同士の連携が実感されました。

話は変わりますが昨年12月、近角連合会会長並びに藤本専務理事をお迎えして開催されました東北ブロック会会長会議において、2期4年間に亘り努めてきた秋田会の幹事県としての事務局とブロック会長を今期で任期満了となることが確認されました。事務局並びに各ブロック委員の皆様には厚く感謝申し上げます。

現在私は秋田県建築士会会長として4期7年目ですが、これまで東北ブロック会長のほか日本建築士会連合会副会長として役員選考委員や女性委員会並びに業務保険委員会担当理事等各種委員として多くの活動を経験させていただいており、今更ながら建築士の社会における責務の重要性を実感しているところであります。一方このような活動を成しえたのは会員諸氏の協力と事務局の献身的な支えがあったからであります。それらの経験は建築士会活動に生かしてこそ意義あることと認識いたしております。しかし、非力故に具体的成果として生かすきれなかったことを改めて認識し反省いたしております。

結びになりますが、常態化しているように感じる異常気象が今年度は穏やかであることを祈りつつ、建築のプロ集団として士会会員同士の連携を図り、地域の活性に協力し尽力できるよう祈念し、隆盛の象徴である辰年年頭にあたりましての挨拶といたします。

年頭のご挨拶



秋田県建設部建築住宅課長 金 沢 克 己

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より県の建築住宅行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界的な異常気象に加え、エネルギー資源等の価格高騰、さらには長引く円安が、生活に大きな影響を及ぼしている中、7月の記録的な大雨により、河川の氾濫や市街地での内水氾濫によって家屋の浸水や堤防の決壊等の甚大な被害が発生いたしました。

現在、被害を受けた方々の一刻も早い生活再建に向けて、市町村をはじめとする関係機関の協力のもと、全力で取り組んでいるところでありますが、住宅等の早期の復旧、復興に向けてご尽力いただいているボランティアや建設関連に関わる全ての皆様に対して、心から感謝申し上げます。

県では、今後、気候変動の影響による被害リスクを低減する抜本的な治水対策を強力に推進し、県土の強靱化を図ることとしておりますが、各地で頻発する集中豪雨による被害状況を踏まえると、地域の治水対策だけに頼るのではなく、建築物敷地内への浸水も想定して、まちづくりや建築物単位でも水害対策に目を向けていく必要があります。

建築物の水害対策としては、国土交通省と経済産業省が令和2年6月に「建築物における電気設備の浸水対策ガイドライン」を策定、日本建築士会連合会が令和5年3月に「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」を作成しているほか、民間事業者の技術開発等もある程度は進んでおります。

一方、建築関連法規に目を向けると、耐震基準や防火規定など、地震や火災に対する要求性能は従来から明確になっておりますが、水害に対しては、災害防止危険区域等の指定による立地制限という手段があるものの、単体規定では耐水性能の基準は明確になっておらず、建築物の水害対策に関する知見は、未だ確立していない状況であるとも言えます。

したがって、建築物の水害対策を講じていく場合、各種のガイドラインや官民の取組事例等を参考としながらも、個々の判断で、安全性能確保や機能確保に向けた工夫をしていかざるを得ません。

ハード面では、床面の嵩上げや止水板、防水扉、排水管の逆流防止装置の設置など、様々な事例が見

られますが、使い勝手やバリアフリーとの相反の面から、すべての建築物に万能という訳ではなく、費用等の面でも現実的でない場合も考えられます。こうした場合、浸水リスクをどこまで許容するか、浸水が生じた時にどのような行動するか、ソフト面での対応も予め考えておくことが肝要であると考えます。

また、市町村が公表しているハザードマップの活用も重要であり、不動産取引時には、その相手方に対象となる物件の災害リスクを認識してもらうため、重要事項説明としてハザードマップを提示して災害リスクに係る説明をすることが義務付けられております。

建築物の建設時には、このような義務付けはありませんが、避難等のソフト対策によってできるだけ被害を小さくする取り組みも重要であり、そのための第一歩として、設計や建設に携わる方がハザードマップの災害リスク情報を施主と共に共有していくことは意義があり、建築士の役割は非常に大きいものと考えます。

さて、近年の気候変動をみていると、水害対策のみならず地球温暖化対策は着実に進めていく必要があります。2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、エネルギー消費量の約3割を占める建築物分野における取組が急務となっていることから、国では令和4年6月に建築物省エネ法や建築基準法等を改正し、建築物分野の省エネ対策の徹底、吸収源対策としての木材利用拡大等を通じて、脱炭素社会の実現を目指すこととしております。

木材利用等の緩和となる規定は既に施行されておりますが、省エネ基準適合義務等の強化となる規定は令和7年までに順次施行の予定となっております。近年にない大きな法改正であることから、国と連携して円滑な施行に向けて情報提供に努めてまいります。皆様におかれましても、国土交通省ホームページ等で公表される情報にご留意いただければと幸いと存じます。

結びに、辰年は努力した成果が実を結ぶような出来事が多く起こる年と言われます。新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた飛躍の年となることをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

◆第45回 一般社団法人秋田県建築士会大会 由利大会◆ ～一般社団法人秋田県建築士会 創立70周年記念大会～

「みらいへ」70th Anniversary



- ◇と き：令和5年9月30日（土）
- ◇ところ：由利本荘市 安楽温泉 陽光の間
- ◇主 催：一般社団法人秋田県建築士会
- ◇主 管：由利建築士会

13：00～13：30	受付			
13：30～14：00	式典	司会	由利建築士会・女性委員会	
	1. 開会			
	2. 主催者挨拶		(一社) 秋田県建築士会 会長	淡路 孝次
			(一社) 秋田県建築士会 青年委員長	熊谷 昌剛
	3. 来賓祝辞		秋田県由利地域振興局長	菅生 淑子 様
			由利本荘市長	湊 貴信 様
			(公社) 日本建築士会連合会 会長	近角 真一 様
	4. 来賓紹介			
	5. 創立70周年記念事業紹介			
	6. 閉会			
14：15～15：15	記念講演			
	演題「クロスオーバーすること」			
			(株) 工藤浩平建築設計事務所 代表取締役	工藤 浩平 様
15：30～17：30	建築フォーラム			
	□まちづくり委員会（防災）	まちづくり委員会副委員長		佐々木昭仁
	「日本建築士会連合会における災害対応の取組」			
	～あなたのまちに起こりうる災害に対して～			
	□まちづくり委員会（歴史）	まちづくり委員会副委員長		鈴石 博実
	「増田重伝建築地区におけるヘリテージマネージャーの関わり方」			
	□女性委員会	前女性委員長		松橋 雅子
	「魅力ある和の空間ガイドブック（WEB版）作成と地域活動の軌跡」			
18：30～	懇親会	司会	由利建築士会・青年委員会	
	1. 開会			
	2. 歓迎の挨拶		由利建築士会 会長	佐藤 吉則
	3. 来賓祝辞		由利本荘市議会 副議長	高橋 和子 様
	4. 来賓紹介			
	5. 乾杯		(公社) 日本建築士会連合会 東北ブロック会 青年建築士連絡協議会 会長	坂本 佑輝 様
	6. 祝宴			
	7. 大会旗伝達			
	8. 中締め			

○主催者挨拶

(一社) 秋田県建築士会 会長 淡路 孝次

第45回秋田県建築士会大会由利大会開催にあたり、東北各地よりお越しの青年委員長の皆様、心より歓迎いたします。また多数の御来賓の皆様にご臨席賜り全県大会が開催できますことは本当にうれしい限りであり、秋田県建築士会を代表し心から感謝申し上げます。

昨年度は全国大会あきた大会開催の年であり共催団体としての東北ブロックの皆様、特に青年女性委員の皆様には本当にご協力賜り、お蔭をもちまして多くの賛辞を頂戴するような大会が実施できましたことに主管県を代表し御礼申し上げます。

処で、昨今の気候について過去に例を見ない状態が全国的、全世界的に起こっており、またその状況は異常気象ではなく毎年のように起こる通常気象のようになってきていることに個人的に危惧を抱いております。特に狭いエリア内の出来ごとではない状況が多いことから、建築に携わる我々は近隣の仲間と連携し、ことにあたる必要が生じてきております。特に今年は秋田県内でも県都秋田市の中心部で河川が氾濫し、過去に例のない床上浸水数千棟という状況となり、全国の仲間から多くのお見舞いを頂戴しております。その中で感じたことは、建築のプロ集団として仲間との連携が本当に大切であるということでありました。それ故、本日は、東北各地よりおいでの青年委員長さんには必要があるときにお互い顔が見えるように親睦を深めていただきたいと思います。

この度の由利大会が参加者の皆さんのご健勝とそれぞれの地域の発展につながることを祈念し、主催者としての挨拶といたします。



○青年委員長挨拶

青年委員長 熊谷 昌剛

本日は、第45回一般社団法人秋田建築士会大会由利大会の開催にあたり、ご臨席賜りましたご来賓の皆様、県内各地の建築士会会員の皆様には、ご多用中のところご参加いただきましたことに、心より御礼申し上げます。また、大会開催にご尽力された由利支部の皆様には深く感謝申し上げます。

本大会は秋田県建築士会創立70周年という記念すべき節目となっており、大会テーマも【「みらいへ」70th Anniversary】と銘打っております。建築フォーラムでは各委員会の取り組みが発表されますが、70年間活動し積み重ねてきた軌跡が感じられるのではないかと期待しております。

昨年はこの秋田で建築士会全国大会が盛大に行われ、成功裏に終えられたことは皆様の記憶にも新しいことかと存じますが、その中で我々は会員同士の繋がりを深め、また個人としてもより成長することができたのではないかと感じております。今大会においても、記念講演や建築フォーラム、そしてエクスカッションを通し、ご参加されている皆様がそれぞれに経験を積み、「みらいへ」進む原動力を得られることをご祈念申し上げまして、大会にあたっての挨拶といたします。



○歓迎の挨拶

由利建築士会 会長 佐藤 吉則

本日、ご多用にも関わらずご来賓の皆様、東北各県の青年委員長様、並びに県内建築士会員の皆様のご参加のもと、第45回一般社団法人秋田県建築士会大会由利大会を開催できました事、主管建築士

会として感謝し心より歓迎申しあげます。ありがとうございます。

今大会のテーマとして「みらいへ」と掲げております。若手建築士の育成、情報交換、技能共有する重要性が高まってきております。近年、地震風水害が各地で発生し人の命と暮らしを守る対策が急務になってきました。我々建築士は被災住宅の応急復旧の提案、相談窓口業務等の合理的かつ柔軟な対策が求められております。暮らしの再生へ向けて活動を宜しく申し上げます。

大会初日の記念講演・建築フォーラム・懇親会を企画し、翌日のエクスカッション見学会で会員同士の交流、秋田の魅力を確認し、その時代と真正面に向き合い“今を悲観することなく今を精一杯生きること”が大切だと教えられているように感じます。霊峰鳥海山、自然豊かな湿原、日本海の恵み、おいしい水の郷で皆様をお迎えしおもてなしさせていただきます。結びに本大会の開催にあたりご理解ご協力頂いた関係各位、準備にご尽力いただいた当会の皆様に感謝申し上げます。



ご来賓

秋田県由利地域振興局長	菅生 淑子 様
由利本荘市長	湊 貴信 様
にかほ市長	市川 雄次 様
由利本荘市議会議長	伊藤 順男 様
にかほ市議会議長	宮崎 信一 様
本荘由利総合技能センター 運営委員長	木原 忠悦 様
(株) 工藤浩平建築設計事務所 代表取締役	工藤 浩平 様
(公社) 日本建築士会連合会 会長	近角 真一 様
(公社) 日本建築士会連合会 東北ブロック会 青年建築士連絡協議会 会長	坂本 佑輝 様
(一社) 青森県建築士会 青年委員長	松野 幸生 様
(一社) 岩手県建築士会 青年委員長	東 英輝 様
(一社) 宮城県建築士会 青年部会長	小山 和寛 様
(一社) 山形県建築士会 青年委員長	渡部 明弘 様
(公社) 福島県建築士会 青年委員長	戸倉 誠 様



県由利地域振興局長 菅生様



本荘市長 湊様



日本建築士会連合会 近角会長様
土崎空襲など、秋田にまつわるお話を頂きました。



ご来賓の皆様

○記念講演 演題「クロスオーバーすること」

(株)工藤浩平建築設計事務所 代表取締役 工藤 浩平 様



○建築フォーラム □まちづくり委員会（防災）

まちづくり委員会副委員長 佐々木昭仁



□まちづくり委員会（歴史）

まちづくり委員会副委員長 鈴石 博実

□女性委員会

前女性委員長 松橋 雅子



○アトラクション ペーパータワーコンテスト～紙で建築 高さを競おう！！～



○懇親会



由利本荘市議会 副議長 高橋 様



乾杯 東北ブロック青年委員長 坂本 様



懇談の様子



当会 相談役 石川 様



当会 相談役 田仲 様



余興 フラダンス



アトラクション表彰



優勝：来賓チーム喜びの声



大会旗伝達



湯沢雄勝建築士会 決意表明

由利大会を終えて

令和5年9月に「第45回（一社）秋田県建築士会大会～由利大会～」が開催されました。本来は令和2年に開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症等の影響により令和5年まで延期された経緯があります。延期になったことにより十分な準備期間があると思われたのですが、やはり感染症による行動制限等により由利建築士会の活動も滞るようになり、本格的な大会準備は令和5年の春からとなってしまう準備不足による不手際などあったと思います。

さて、大会は令和5年9月30日、10月1日の二日間に亘って開催されました。

一日目は、式典・記念講演・建築フォーラム及び懇親会、二日目はエクスカージョンという日程でした。

本年度の由利大会は秋田県建築士会創立70周年記念大会と共催ということもあり日本建築士会連合会・近角真一会長、東北ブロック会の各県青年委員長並びに由利地域から多くの来賓の方をお招きし、貴重なお話を聞くことが出来ました。また県内各地から60名あまりの会員の皆様の参加により大会を盛り上げていただきましたことを感謝いたします。

式典では近角会長をはじめ来賓の方々よりご祝辞をいただき、最後に秋田県建築士会創立70周年記念事業について報告がありました。令和6年度には記念誌の発行が予定されているようなので楽しみに待ちたいと思います。

式典に続き記念講演として秋田県出身で現在注目されている若手建築家の工藤浩平氏を講師に迎え、「クロスオーバーすること」を演題に講演いただきました。

記念講演については由利地域の大学、工業高校で

建築を学ぶ学生さんにもご案内したところ、6名の大学生が参加してくれました。

工藤氏の講演は実例を交え非常に興味深く、参加した学生さん達も工藤氏から刺激を受け今後の建築との関わりに役立ててほしいです。また、これをきっかけに建築士会に興味をもってもらえたら嬉しいです。

建築フォーラムでは昨年のあきた大会セッションにおける県内発表者から大会と同じ内容を発表していただきました。私たち会員は当日大会スタッフとして業務にあたっていたため、今回の発表は貴重でした。

また、フォーラムの最後にアトラクションとして「ペーパータワーコンテスト」を行いました。各地域会対抗でしたが、みなさんリラックスした中にも真剣に参加していただいたようです。

一日目の最後は懇親会です。

由利建築士会会長のサプライズな余興も飛び出したりして、みなさん大いに飲んで、食べて、語らって、そしてまた呑んで由利の夜を楽しんでいただけたと思います。また、次回の開催が決まっている湯沢雄勝建築士会へ大会旗を無事に伝達できました。

懇親会終了後には参加者の方より今日一日本当に楽しかったとの言葉をいただきました。

二日目はエクスカージョンです。午前中だけの短い時間でしたが、「木のおもちゃ館」「蛸満寺」など由利地域の名所を訪れました。

以上が第45回秋田県建築士会大会～由利大会～を終えての私の感想並びに報告です。大会に参加した方々は当日のことを思い出していただき、参加できなかった会員のみなさまは当日の雰囲気や少しでも感じていただけたら幸いです。

(由利建築士会：正木 和美)

令和5年度 優良建物見学会

企画・運営：由利建築士会

今年度の優良建物見学会は、由利本荘市で開催された秋田県建築士大会由利大会に合わせて、翌日の10月1日(日)に開催されました。見学コースは、第64回建築士会全国大会あきた大会のエクスカージョンEコース『国の登録有形文化財を活用した事例に触れる』と同じ企画として募集したところ、26名の参加となりました。見学先は、鳥海山木のおもちゃ館～白瀬南極探検隊記念館～蚶満寺～道の駅象潟ねむの丘と由利本荘・にかほ地区を一周するコースです。集合場所の安楽温泉からバスに乗り、道中は由利建築士会スタッフの名ガイドにより、退屈することなく移動することができました。

鳥海山木のおもちゃ館では館内スタッフによる説明があり、詳しく建物概要や利用状況を知ることが出来ました。由利建築士会会員で体育館を耐震改修と合わせてプレイルームに改修した設計担当者もあり、興味深い話が聞くことが出来ました。



今回は半日企画としたため時間を短縮し、白瀬南極探検隊記念館はバスの中からの見学といたしました。黒川紀章氏が設計した斬新な外観をあらためて堪能いたしました。

次の見学先の蚶満寺では、ボランティアガイドさんから詳しい説明を受けました。歴史的な背景や七不思議伝説、九十九島などのお話を聞いて文化遺産として貴重な秋田の財産であることを認識いたしました。



最後の見学先は道の駅象潟ねむの丘です。この道の駅は来客数が県内一の人気スポットです。好天で素晴らしい景観となった海を眺めながら、昼食やお土産、足湯等散策し自由行動を満喫いたしました。

あきた大会では、全てのエクスカージョン満足度で高評価を頂きましたが、由利建築士会スタッフの大会同様のおもてなしを受けて納得した次第です。

バスの添乗から現地案内、道中の珍トーク？など、由利建築士会のスタッフの皆様、たいへんありがとうございました。お疲れ様でした。

「第12回まちづくり賞」応募活動のご紹介

まちづくり委員長 小原 正 明

(公社)日本建築士会連合会主催「まちづくり賞」に、仙北支部が平成22年から取り組んでいる活動「住宅新築リフォーム講座」を応募しましたので、ご紹介いたします。

地域色を引き継ぐ。

Building on traditional wisdom.



■講座のきっかけ

平成22年の秋、大仙市の健康文化活動拠点センターペアール大仙からお話を頂き、新築・リフォームを計画している市民を対象として第1回目の「住宅新築リフォーム講座」が開催されました。「車の10倍もするような買い物なのに、買い手は勉強が足りないし、建築業者も情報提供が十分ではないのではないか」という当時の館長の疑問がこの事業のきっかけ。以降、ペアール側の要望により、仙北建築士会の有志が講師となって講座を継続することとなりました。家を3回建てたことのある方や地元金融機関・FPなどにも協力して頂いております。

■参加者が本当に安心して参加できるか？

この講座が、業者団体の立場で宣伝を主にしていまい「囲い込みセミナー」と同じように認識されてしまっは、公共的な講座としても、建築士会のイメージとしても良い結果にはならなかったと思われ

今回のセミナーのスタンス



ます。この講座では「公な立場」を貫く必要があると認識のもと、

1. 特定の工法や材料を推奨はしない
 2. あくまでも選択肢の提供
- というスタンスを、ルールに決めました。

■講座の内容について



講座は全6回シリーズで、新築・リフォームどちらの内容も取り上げます。住まう人達により幸せになってもらうために、地域の気候風土やその対策などの物質面だけでなく、家族関係や将来について「家」を改めて考えて頂くようにしています。コロナ禍以降は3回に圧縮していますが開催を継続しています。

【講座内容例（令和2年実施）】

- 1回：「3度家づくりをした人の話」「新築・リフォーム・中古物件我が家にはどれがベスト？」
- 2回：「家づくりのスケジュールとお金」
- 3回：「あるお宅の例～新築編～」
- 4回：「リフォーム前にしたい7つの事」
- 5回：「温熱環境と省エネ／暖房・給湯器どう選ぶ？」
「雪対策」
- 6回：「いつだれに相談したらいい？」「依頼先を決めるには（工務店、設計事務所、ハウスメーカー）」「材料とメンテナンス」

※なお、この講座は平成24年より5か年秋田県建築士会の地域貢献プロジェクトとして、県内4地域会において展開されました。



■意外だった受講者の声

アンケートより、各テーマごとに理解度・難易度や知りたいキーワードを得て次回に反映しています。過去に、受講者から「家づくりって、本当はもっと自分たちが勉強しないといけないんですね。」との言葉が出た時は、私達の企画意図が届いた気がしました。しかし一方で「設計事務所は住宅の設計もするの?」と衝撃的な質問を受けることも多々あり、これほど建築士の役割は、地域の一般の方に認知されていないものかと気付かされました。

【参加者アンケート回答の例】

Q. ためになった部分はありましたか?

LDKではなく、暮らしぶりから間取りを決める方法 / 積立保険制度について / 薪熱材 / 住宅もメンテナンスが必要 / 照明はただ明るくだけでなく、部屋のムードを変えること / 本体工事以外にかかりすぎるものだと知った…etc

Q. もっと知りたい部分はありますか?

風呂・無断水について / 依頼する業者さんの選び方のポイント / 新築までのダンドリ / 雪対策がうまくいく住宅 / 断熱の違いによるランニングコストの差 / 家の診断 / 見積書や図面の見かた…etc

■それぞれのメリット

講座後のアンケート結果も踏まえて効果を検証すると、想定以上のメリットがありました。

～市民（受講者）にとってのメリット～

- ・安心して家づくりを学べる。
- ・少人数で質問がしやすい。

～若手会員にとってのメリット～

- ・持っている知識とこの機会に調べた知識を整理する機会になった。
- ・先輩方の経験から出る話題は、地域ならではのことを学ぶ機会になっている。

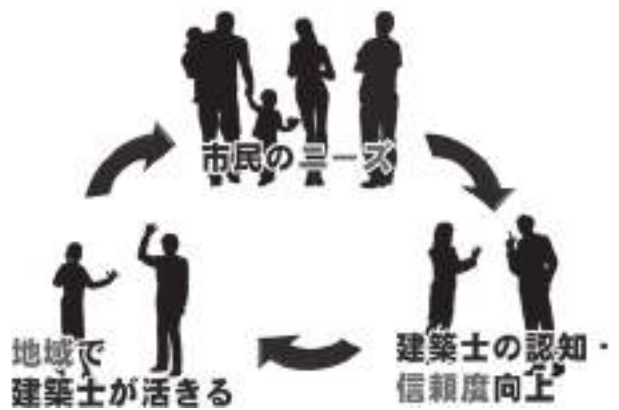
講座の準備、運営、ベースの講義は青年会員がメインとなって行い、後半の座談会では、ベテラン会員より講座の補足と地域独特の気候風土や対策などに触れながら、質疑応答をして頂きました。

■建築士会にとっての効果

若手が一般的なことを扱って、プラス、ベテランが経験に基づいた地域の知恵・地域色を補足する。このスタイルが若手にとっては地域色の勉強の場になると同時に、効果的な世代交代へのツールとなり得るのではないかと実感があります。

受講者の声に気づかされたことですが、どうやら一般の方の建築士への認知は、医師や弁護士に比べて低いようです。建築士の役割の重要性を一般の方にも理解して頂くことを続けなければ、認知度や信頼性は向上しないように思われます。

市民のニーズにあった地域貢献活動は、建築士の認知につながり、信頼度も向上します。結果、地域に必要とされる存在になり、より市民のニーズに答えていくことができます。



各地の知恵・技術の継承は、各地域でしかできません。経験豊富な先輩が現役でいらっしゃる今後10年の間が絶好のチャンスと考えます。

■地方都市のまちの未来を

日常業務ではなくとも、同じまちに住まう人の幸せを願って「家づくり」を考える場の提供をすることは、職能を發揮できるシンプルな地域貢献です。

人口減と地域経済の循環が崩れつつある地方都市において、その地域を守るのは地域を知り、郷土愛がある建築士です。まちづくりは、人が住み続けられる環境・仕組みをつくることと考え、この活動を継続したいと思っております。

この活動は「まちづくり賞」受賞は叶いませんでしたが、1月14日の「東北ブロック会まちづくり委員会」で発表の予定です。まちづくり活動をされている各支部や委員会は令和7年度の「第13回まちづくり賞」に向けて、応募検討されるようお願いいたします。

全国大会の青年委員会セッションを終えて

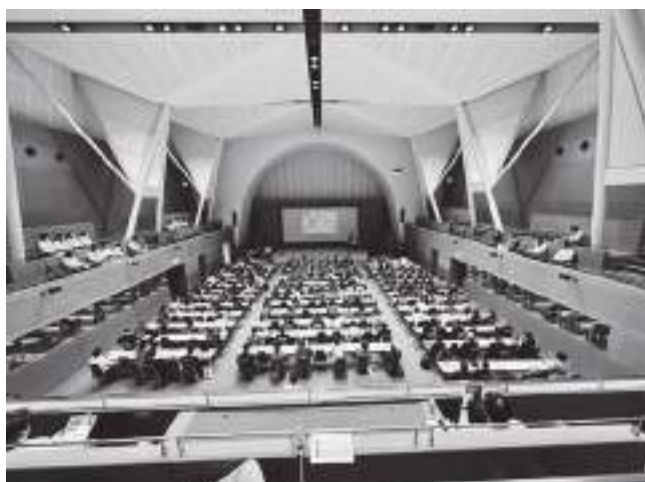
青年委員長 熊谷昌剛

今年行われた建築士会全国大会「しずおか大会」においては、青年委員会セッションとして「地域実践活動発表会」が開催されました。全国の各ブロック大会で勝ち抜いてきた代表が最優秀賞を目指して集結する中、東北ブロック代表として鹿角支部が出場しました。全国大会において秋田県は久しく出場していなかったため、快挙といえるでしょう。

当日の東北ブロックの発表順は7支部の中で2番目。発表タイトルは【「ミライのしごと」職業体験学習 ～キャリア教育をとおして次世代育成のチャンスを探ってみよう～】です。鹿角支部では、コロナのために今まで活動していた次世代育成事業が休止を余儀なくされていました。そんな折、鹿角市の教育センターから小学生への職業体験学習の依頼があり、青年部が建築士として参加。建築士について仕事の紹介や設計のプランニング体験を通し、建築士という職業の魅力を伝えることができた・・・というのが発表の概要です。

しかしここでイレギュラーが発生！鹿角建築士会は今年の3月に行われた東北ブロック大会において代表に選ばれたわけですが、その時原稿作成に尽力し、発表を成し遂げ、見事東北ブロック代表の切符を勝ち取った立役者であるの安保さん（鹿角建築士会青年委員長）が、インフルエンザに罹患したため急遽参加できないという事態になってしまいました。発表そのものができるのか危ぶまれましたが、同支部の木村さんがしっかりと引き継ぎ、堂々と発表することができました。惜しくも優秀賞・最優秀賞は逃したものの、しっかりと奨励賞をいただいて凱旋しました。

鹿角建築士会では今年もこの職業体験学習を継続する予定です。昨年の活動に加え、今回乗り越えた全国大会での発表も糧とし、さらに内容をブラッシュアップして地域実践活動に取り組んでいかれることを期待します。



青年セッション会場



発表する木村氏



奨励賞

令和5年度 東北ブロック女性委員会 あおもり大会に参加して テーマ：女性建築士がつなぐ未来への懸け橋

～東北女性建築士の活動と、八戸に新しい風を！～

仙北建築士会 鈴木 有扶子

9月16日（土）17日（日）青森県八戸市で「令和5年度 東北ブロック女性委員会 あおもり大会」が開催され、参加してまいりました。

一日目は「ポータルミュージアムはっち」で東北女性建築士の活動展＋トークイベントが催されました。八戸市出身の建築家でアーティストの高砂充希子さんを迎え、基調講演のみならず会場構成の協力を得て、学生や一般市民も自由に参加できる軽やかな雰囲気の中でのイベントとなりました。

高砂さんはアメリカに留学、仕事をされてきており、多くのアーティストックな仕事に携わっています。中でも印象的だったのは仮想空間にお墓をつくるというものです。お墓は故人を思い出し、偲ぶ事のできる大切な場所ですが、現代社会では管理や存続の危機に直面している墓も少なくないと思います。仮想空間であれば、管理も必要なく、いつでも墓参りに行くことができます。（今時 Web 上で更新等ありそうですが。）斬新で魅力的なアイデアだと感じました。他に、同じアメリカでも西海岸と東海岸の仕事に対する取り組み方の違い、ジェンダーレスな職場環境などニューヨークとサンフランシスコで働いたことのある高砂さんならではの話も聞く事ができました。海外での活動だけでなく、八戸市内をアートで盛り上げる活動もされており、洗練されていてインパクトの強いものでしたが、各地で行われている建築士会の地域貢献活動も内容は負けていない気がしました。

二日目は早起きして朝市へ行きました。6時前にはホテルを出発しましたが、既にたくさんの人で賑わっていました。近くにあれば、毎週来てしまいそうな程、楽しい場所でした。

その後、八戸酒造と八戸市美術館の見学にも参加しました。八戸酒造は国の登録有形文化財の登録を受けており、赤レンガ、土蔵造り、近代和風商家の構えと異なる特徴を持つ建物が見事に交じり合った空間でした。調査や修復に関わった建築士の話も聞くことができ有意義な時間となりました。八戸市美術館は旧美術館跡地付近に令和3年にオープンしたばかりの新しい美術館です。エントランスはジャイアントルームと呼ばれる巨大空間で、誰でも自由に出入りし利用できる場所として学習や会議にも使われていました。

八戸市は「アートのまちづくり」というテーマをもって、建物を整備するだけでなく、人間を巻き込んだまちづくりを進めていて、街全体の活気を生んでいるように感じました。

帰りの車の中では、青森と秋田との違いや楽しかった思い出を語りつつ、最後まで充実したあおもり大会となりました。



令和5年度 福島県建築士会「第34回女性建築士のつどい」に参加して

女性委員長 清水川 道子

11月11日（土）福島県建築士会女性委員会からお誘いをいただき「女性建築士のつどい」に参加してきました。福島県の女性委員会は11支部に分かれていて「建築士のつどい」は、会場を各支部持ち回りでやっているそうです。『誰一人として取り残さない！環境づくり/SDGsの視点から』と題して、今年は福島市の「ラコパふくしま」を会場に開催されました。午前中に女性委員会メンバーが案内する「ディープなふくしままち歩き」、午後は、基調講演と行事報告、各支部の活動報告と盛りだくさんのスケジュールでした。訪れるからにはまち歩きから参加しようと明け方福島に向かいました。

会場の「ラコパふくしま」からスタートしてのまち歩きは、小路を巡りながら～通りに出ては、若者たちがリニューアルした複合店舗やレトロモダンな喫茶店・昔ながらのパン屋さん等々。築100年の木造聖ステパノ教会は繁華街にひっそり佇んでいました。また、福島に転入した女性たちによる福島暮らしの中で生まれた商品をセレクトしたギフトショップも魅力的でした。転入した方を応援する社団法人がプロデュース管理しているそうです。「古閑裕而ストリート」では、ジュークボックスで一息ついて約2時間まち歩きを楽しみました。その中で印象に残ったのは、幹線道路以外の通りのほとんどが、一方通行でインターロッキングブロックが敷かれ、道幅が狭い分おのずと人と商店の距離が近く、目的があるなしにかかわらず街を楽しめると感じたことです。

午後の基調講演は、浅野由子（あさのよしこ）先生から「SDGsから考える子供の保育・建築環境」と題して聴講。浅野先生は日本女子大学家政学部児童学科専任講師で、過去に15年間スウェーデンにて保育教育にたずさわった方です。スウェーデンの子供をとりまく様々な環境や地球環境に関わる取り組み方など、Q & Aを交えながら解りやすく学ばせてもらいました。（浅野先生の恩師である定行まり子歴代女性委員長もゲスト参加しておりました。）

その後、各支部の活動報告に移りましたが、4年ぶりの人数制限なしのリアル開催でお互い元気な姿を見せあうことも目的の一つのようでした。

今回「建築士のつどい」に参加して、私自身様々な刺激を受け充実した一日となりました。ぜひまた訪れてみたいと感じ福島市を後にしました。



全国大会 しずおか大会

◆第65回建築士会全国大会「しずおか大会」報告◆

より高く、より深く、語り合おうこれからのローカル
歴史と文化の承継 ～ローカルに生きる～



日時：令和5年10月26日（木）、27日（金）、28日（土）

場所：静岡市 静岡グランシップ

主催：（公社）日本建築士会連合会

共催：建築士会東海北陸ブロック会

（静岡・愛知・岐阜・三重・富山・石川・福井）

主管：（公社）静岡県建築士会

後援：国土交通省、静岡県、静岡市、浜松市

令和5年10月27日（金）、第65回建築士会全国大会「しずおか大会」が、静岡市東静岡の「静岡県コンベンションアーツセンター／グランシップ」で開催されました。会場はポストモダン建築の第一人者である磯崎新氏が大海原を進む大船をイメージした外観で、新幹線の窓越しに「11秒の一瞬に印象付ける建物」をコンセプトとして設計された建物です。平成11年3月の開館後25年を経て、現在も重厚で勇壮な姿の会場が、全国からの建築士を迎えてくれました。

昨年度のあきた大会の御礼を込めて、当会からは例年になく多くの会員の参加があり、大会登録者数は同伴者8名を含み総勢89名。それぞれの参加者が、それぞれの会に参加し、概況は以下のとおりでした。特に最終日のエクスカーショナコースは、当会会員だけの大型貸し切りバス1台の特別専用コースになるなど、参加者それぞれが、秋の静岡を満喫できた大会となりました。



駿府城



静岡グランシップ

<大会参加概況>

26日	・まちづくり賞発表会&公開審査会	1名参加
	・全国建築士フォーラム	6名参加
	・全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会	12名参加
27日	・記念講演	59名参加
	・大会式典	86名参加
	・大交流会	74名参加
	・セッション(10部会)	35名参加
28日	・エクスカージョン Aコース	36名参加
	・エクスカージョン Bコース	3名参加
	・エクスカージョン Iコース	14名参加

○大会レポート○

第65回建築士会全国大会「しずおか大会」に参加して

(一社) 秋田県建築士会 副会長 中西純悦
(鹿角建築士会 会長)

10月27日 全国大会「しずおか大会」に向けて朝6時半、鹿角建築士会参加者5名で高速東北道から最寄りの駅の東北新幹線岩手二戸駅へ。参加者の募集、スケジュールの調整、乗車券手配など事務局には大変難儀掛けました。

全国大会は大分、金沢、京都、埼玉など何度も参加しましたが昨年秋田での開催で自分自身 熱い思いで多少なりとも関わっていたことも有り しずおか大会 会場グランシップ静岡に着いて最初に感じたのは、いまいち盛り上がりを感じられなかったことでした。

あきた大会では会場でのゆるキャラ、観光レディーなどによる歓迎、接待を担当していたことも有り、なんとなく寂しい気がしたのは、私だけだったのでしょうか。静岡県は秋田県に比べ都会であり大きなイベントに慣れているようで、各行事が淡々と進んでいたような気がしました。

記念式典に参加して登録人数3000人余りとの事ではありましたが式典会場グランシップの1階アリーナ収容人員2400名のところ8割程度しか入っていなかったように見受けられ2,3,4階には誰も入れていなかったようです。会場が大きかったせいか、すこし活気がなかったように感じ大会式典の運営方法等考えなおす時期に来ているのではないかと感じました。

グランシップ静岡は、故磯崎 新 氏の設計で、その大空間に圧倒されました。(冷暖房費はなどと考えてしまうスケール小さい自分がおりました・・・) 時間があつたので、船のイメージである外観をじっくり観察いたしました。今年の大河ドラマのせいか裏側は徳川家康の甲冑の兜のようになっていかなかった印象です。

大交流会はものすごい人数で、さすが都会の大ホール、人数制限もなく飲食もそれなりに出来、他県の会員と交流を深めることが出来良かったと思います。話に夢中になりステージの演奏などほとんど思い出せません。



式典オープニングセレモニー



しずおかゆるキャラ

2次会は鹿角建築士会のメンバーでホテルおすすめの居酒屋へ。さすが静岡 海産物の料理で久しぶりでうまいものを頂きました。後で聞いたら市内でも人気の居酒屋との事で大変楽しいひと時を過ごさせてもらいました。

二日目はエスカーション A コース 三保の松原、久能山東照宮、など秋田建築士会だけのバスツアーとなり秋田弁を気にすることなく大いに楽しみました。一番印象にあるのが昼食の豪華さと、食事の量で最後は食べきれないで残してしまうほどでした。後で聞いたら昼食一人前 6,000 円を超えるとの事で、A コース会費 14,000 円で採算があったのでしょうか？ 昨年のおきた大会における唯一の宿泊エスカーション（大館、鹿角コース）で、鹿角士会が準備した昼食は 3,000 円程度で思わず比較し大変申し訳なかったなと思いました。久能山東照宮では案内のおじさんまでつけてもらい大河ドラマの影響もあり大変興味深く見学させてもらいました。

最後の見学は日本平夢テラス（隈研吾氏設計）。木造かと思っていましたが、鉄骨と木のハイブリット 日本観光地百選コンクールで第 1 位に選ばれたことがあるように、富士山や眼下に見える清水港、伊豆半島、南アルプスのパノラマビューはまさに日本一の絶景。当日は富士山だけが雲がかかり見えないのが残念でした。この空間を体験できただけで今回静岡に来れてよかったと思いました。

最後にエクスカーション A コースに添乗頂きました静岡県建築士会のお二人の気配り、おもてなしに感謝申し上げます。

全国大会に参加して地域会、他県会員と交流が深められ楽しい旅になりました。

しずおか大会に参加して

（一社）秋田県建築士会 副会長 佐藤 隆 志
（湯沢雄勝建築士会 会長）

「ふじのくに静岡」全国大会に参加してきました。

会場のグランシップは、静岡市と清水市の間に位置する大規模なコンベンションセンターです。昨年のおきた大会同様に多くの全国の建築士や建築関係企業の代表者が集まりました。

記念講演では建築業界の最新動向や技術に関する事をパネルディスカッションされ、有名な建築家が登壇し主に城郭建築のデザインや持続可能性に関するトピックスについて情報が紹介されました。

展示ブースエリアでは、建築関連企業や製品サプライヤーが最新の製品や技術を披露し、参加者との交流が行われました。建築材料や設備機器のエネルギー向上に貢献する製品や様々な展示があり、新しいアイデアやソリューションを得るきっかけになったと思います。

残念ながら大懇親会には参加できませんでしたが、旧友と 2 次会にたまたま入ったスナックで静岡県建築士会のメンバー（顔見知りではない。）と宮崎県のメンバーと合流し、懇親を深めてまいりました。県を超えた仲間のつながり、暖かさに触れた楽しい一夜となりました。ありがとうございました。

大会期間中は晴天に恵まれ、富士山の麓で穏やかな日々を過ごさせて頂きました。

大会で祝辞をいただいた静岡県知事は、私が思っていたイメージ（リニア新幹線反対の件）とは異なり、県の長としてとても穏やかで意識の高い人に見えました。くしくも我が秋田県知事の「じゃこ天発言」が話題になっている時でしたので、秋田から来ましたと言うと「じゃこ天知事」の所から来たかと窘められました。時が過ぎ今では笑い話になるのかも知れませんが、あれはダメでしょ。なので、私も



式典：グランシップ「大ホール海」



当日の「富士山」

他県に行くときは秋田県の恥と言われないよう自制し、少なくとも秋田県民に迷惑かけないようにしようとする全国大会になりました。

大会を通しての全体のテーマは「ローカルに生きる」でした。同じローカルに住んでいる私達も、ローカルならではの歴史と文化・街づくりを次世代に継承し繋げていかなければならないと感じました。

建築士会全国大会しずおか大会にて

(一社) 秋田県建築士会 専務理事 小田島 誠
(仙北建築士会 会長)

昨年のあきた大会で頑張ったことを思いながら、しずおか大会を存分に楽しもうと参加いたしました。多分多くの参加者は皆そうだったと思います。

10月27日、朝一の秋田新幹線こまちに乗り快晴の東静岡駅へ。会場のグランシップに到着。スタッフがやや少なく盛り上がりが少ないように感じる。早速弁当を会場で貰いビールを片手に野外テント昼食。名物の「富士宮やきそば」も食べたかったが行列で断念。

基調講演の「城づくりの歴史と文化」は大河ドラマ「どうする家康」で時代考証をしている小和田哲男氏の講演で非常に興味ある内容。歴史番組にも多数出ている方なので、この地域の歴史を深く知ることが出来た。パネルディスカッションでも更に深まった話を聞いた。その後は待ちに待った大交流会。仙北建築士会は2次会の時間の関係と荷物をホテルに預けるため少し早くグランシップを退場。そのため秋田県建築士会全体での会場記念写真入ることが出来ず、すみませんでした。大交流会は静岡の名物を期待したが残念ながら一般的な料理が多くて残念。日本酒も量に限りがあるとのことであまり飲めず。1時間半ほどで途中退場して2次会へ。静岡おでんやもつ鍋を食べて満足。その後三々五々でホテルへ。

10月28日、エクスカッション A コース〈駿河の国 国宝と世界遺産探訪〉：三保の松原から見た絶景の富士山、久能山東照宮の歴史を感じる荘厳さ、そして日本平夢テラスから見た日本平の素晴らしい眺望。駿河の国の国宝と世界遺産探訪を堪能しました。夜は居酒屋で懇親会。もつ鍋と串焼きを食べて最後の静岡の夜を満喫。その後三々五々。私は数人と静岡おでんとスナック。それから中華料理を楽しむ宿へ。

10月29日、最終日。貸切バスにて静岡市歴史博物館・静岡浅間神社・そして最後の買い物で清水魚市場・河岸の市。昼食は「池作」で待望のうな重に舌鼓。美味しかった～。

全国大会に参加して久しぶりに皆と楽しかったです。昨年のあきた大会を頑張ったから特にかも知れません。仙北建築士会は、後日『ハバキぬぎ』をやりました。皆様お疲れ様でした。



仙北建築士会 女性委員会



日本平夢テラスにて

連合会会長表彰を受賞して

令和5年度連合会会長表彰者／横手建築士会 照井 郁人

2023年10月27日、第65回建築士会全国大会しずおか大会に、横手建築士会から16名が参加した、あきた大会の熱気そのままに、ワクワク感はやっぱり全国大会だ。

今回は地域会推薦で連合会会長表彰を頂く事になり僕にとっての記念大会。

穏やかな晴天のもとグランシップ広場の芝生でみんなと昼食。あきた大会、あれから一年今日も晴れている。想うに全国大会はいつも穏やかな晴れ、函館も京都も晴れだった。想えば、福島大会に金沢前支部長と参加し帰りに安達太良山中腹までの散策、京都大会では京都駅まで歩いている時、会長からの電話。駅前で会長、田仲さんと落合い楽しい時間を過ごした。僕は元来単独行の山歩きが好きでいつも一人で歩いていたが、どうやら相手がいる楽しさを覚えしまったようで、あくる日、田仲さんと伏見稲荷から東福寺へ山道を歩いた。僕の全国大会はいつも晴れの思い出ばかりだ。楽しい時間もスケジュールはタイトで記念講演から式典まで時間が無い、急いで表彰式表彰者席に向かう。大会なのにみんなと会えないのが心残り、既に今井さん着席していたので席は直ぐに判った。席からの眺めが良く、居心地よく式典を眺めていた。そして、閉会の挨拶には感動のアレを思い出していた……。

式典が終わり記念撮影。近角会長に一言了解を得て隣に着席した、蔵の日に増田でお会いしているのが嬉しさがいっぱい笑顔だった。秋田県建築士会に関わって、一年に一度の全国大会は、こころが癒され熱い気持ちが蘇ってくる、来年は鹿児島大会またみんなで旅をしましょう。

静岡大会に参加して

令和5年度連合会会長表彰者／秋田中央建築士会 今井 廣 子

この度の大会式典において、淡路会長からのご推薦と皆様のお力添で連合会会長表彰を頂きました事、大変ありがとうございました。

これからも自己啓発を深める？ために、もう少し建築士会に在籍したいと思っておりますので宜しくお願い致します。

しずおか大会の翌日からの2日間は中央建築士会総勢8人、レンタカーにて若干若手の会員の細やかな気配りの引率と魅力満載の企画のもと、独自のエクスカージョンを満喫しました。中でも藤森照信氏設計の秋野不矩美術館、茶室「望矩楼」は建築誌などでは見ておりましたが、まさか現地で体感できるとは思っていなかったのも、一つ夢が叶った思いがしました。まさに自然と調和した自然素材を多用する藤森作品そのものでした。

そして芹沢銈介美術館「石水館」。芹沢作品を見ようと一歩敷地に足を踏み入れた瞬間、白井晟一氏の世界が目の前に現れました。不勉強で白井氏の設計と知らなかったのも、驚きとうれしきで大感激。こちらも隣接する登呂遺跡の雰囲気自然に溶け込むよう、石や木・水といった天然素材で構成した設計との事です。重厚な雰囲気と質感に包まれながら、色彩と模様を天才と称された芹沢作品をゆったりと鑑賞することができてとてもぜいたくな一時でした。

他にも豪華絢爛な久能山東照宮に、急で不規則な石段を登りきって参拝出来た事、日本平ではほんの数分の間、頭を雲の上に出した日本一の富士山を駿河湾越しに見られた事などなど、見学するすべてが有意義で心に残るエクスカージョンで、表彰して頂いたこの大会を存分に楽しませて頂きました。



令和5年度「しずおか大会」連合会会長表彰者



照井さんと今井さん

あきたへりてージマネージャー協議会総会 横手市増田伝建 10 周年シンポジウムについて

横手建築士会会長 鈴木博実
(あきたHM協議会会長)

2019年の建築士会県大会秋田大会の同日に開催して以来、4年ぶりにあきたへりてージマネージャー協議会総会が11月12日、横手市増田多目的研修センターで開催されました。ちょうど7年前の2016年11月12日に協議会の設立総会が開催されています。その間、横手を皮切りに開催した養成講座も、2019年に大館市、2021年に秋田市で行われ、現在99名のへりてージマネージャーが誕生しています。

総会には、淡路会長、伊藤事務局次長に出席いただき、26名の参加となりました。淡路会長より挨拶の後、事務局より昨年の活動報告がされ、その後の講習は「歴史的建造物の調査」についての話をさせていただきました。横手市文化財候補の建物調査を行う際に、調査担当者が奈良文化財研究所の島田氏より指導していただいたことの内容と実際に行った際の感想などについてです。

現在、コロナが5類となり会員が集まった研修なども行いやすくなりましたので次年度以降は、総会時ともう一回程度の研修ができればと思っています。来年の総会は、建築士会県大会湯沢雄勝大会の際に開催予定です。

また、東北各県で養成講座が開催され、へりてージマネージャーが誕生しています。今後は、東北ブロックでの情報交換や災害時連携のための基盤作りの活動を行えるようにしていきたいと思っています。



総会（淡路会長挨拶）

午後は、増田が重要伝統的建造物群保存地区に選定され10周年の記念シンポジウムが増田まんが美術館で開催されました。工学院大学の理事長 後藤治氏による「重伝建地区を元気に持続していくため」の演題での基調講演では、さらに魅力ある増田の創出、歴史的建物の保全と同時に活用を考え、空き家対策につなげていくためのヒントについてお話いただきました。

その後、へりてージ養成講座の講師もしていただいている長野県塩尻の渡邊泰氏がコーディネーターとしてのパネルディスカッションが行われ、それぞれの立場で「これまでとこれから」について語っていただきました。

私からは、増田の歴史的建造物の修理修景に関わることによって、へりてージマネージャー養成講座の開催ができたこと、横手市増田の10年間の歩みについて報告をさせていただきました。10年間で修理32件、修景9件の工事が行われ、着実にまちなみは変化しています。この変化を止めないように、横手建築士会として、地域文化遺産の保全活用を推進する役目を担うへりてージマネージャーとして、継続的な活動をしていきたいと改めて思った一日となりました。



シンポジウム



シンポジウム（後藤教授）



講習会

旧仁鮎小学校解体

能代山本建築士会会長 大 高 勇

12月17日、地元紙の北羽新報が二面に旧仁鮎小学校の解体について記事を書いていた。見出しは「にかほ市の白神山地アートミュージアム声あげる」「校舎解体に待った」「地元『やむなし』と意見集約」「文化財保護の観点で議論を」と、大小様々な活字が躍っていた。12月の能代市定例議会の文教民生委員会での審査で、保存と利活用を望む陳情書が不採択と決定した事を受けてからの記事だった。一読してみても自分の聞き及ぶ情報と違う点もあり、地域会会長としてここに書き留めておくことにした。解体について賛成反対どちらでも無く、あくまでも個人的な調査に基づいた情報として残すことにした。

「浜辺の歌」で有名な作曲家の成田為三が仁鮎小学校を卒業したのは明治37年だから、この頃は旧校舎となるが、現存の校舎は1929年(昭和4年)に天然秋田杉で建てられた。当時は木造と言えば材料は天杉だったとよく耳にする。この校舎が築80年を迎える年に、旧二ツ井町7小学校の統廃合で2007年(平成19年)に廃校となり、そのままの形を残して、もう100歳を迎える事になる。最近に残存していた他の木造小学校も順次解体が終わり、令和5年秋には築70年を迎えた旧切石小学校が惜しまれながらも解体された。統廃合後で残された校舎はこの旧仁鮎小学校のみとなっている。

地元紙の記事の中で地区の保存派市議が「今まで歴史的価値という視点で議論される事は無かった」という文言があるが、決してそうでは無い筈だと思っている。また、教育長の言葉を載せた中で「専門家なども訪れたが～」という点では合っているが「何とかしたいという動きは無く～」という記事の内容も違う。教育長が私に以前言った「何度も保存の動きはあったが、立ち消えていたようだし、地元がまとまらなかった」という方が正しいだろう。この記事については記者の主観が少し入ったのでは無いかと勘ぐっている次第である。

過去、閉校後すぐの2008年、「木の建築フォーラム」で県内外から約100人の学識者が見学や講義で訪れている。大学教授、日本建築家協会、地元建築士等々。その後はその諸先生方により木材関連や建築関連の機関紙等に寄稿、照会されている。また、写真家の江川さんという方も当時から、校舎保存を呼びかけて運動しており、新聞でも支援金を募っていたはずだから、前段の記者は知らなかったのだろうか。その写真家の方が亡くなり、意思を引き継いで今回、市議会に陳情書を提出したのが白神山地アートミュージアムという団体(江川さんもこの団体もFacebookの情報より)。それに呼応するように地元の有力者、名士にも保存の動きが見られるようになったようである。

令和5年6月、県建築士会の事務局を通じて先の訪問経験のある先生から連絡があった。「能代市で切石小と仁鮎小が解体予定であり、対して市民団体が保存活動を行っている状態である。建築士会の見解で保存要望書を出せないか」と、というような内容だった。私は現状を把握するために、切石小の保存活動に尽力していた方、両校の保存活動の推移を把握している市議、そして能代市教育長に問い合わせた。私も市の入札公募は目にしていたから、想像通り切石小は既に解体実施設計が終了し、解体業者の入札が始まろうとしていた。当時切石の代表者は、お別れ会と称して校舎見学会、地域のささら踊り披露と、劇団わらび座を招いてのイベントを企画中との事であった。そしてその後、肅々とイベントが開催されて、令和5年秋に校舎の解体を終えたのである。

対して仁鮎小学校。市では切石小学校同様に、地域全町内会より解体やむなしという議決を得ている。半面、今回の保存を望む陳情書には建築士会に連絡をくれた先生も賛同の意見(という記事)。ただ市ではこの陳情以前より、解体反対の動きが散見される事から、推移をみたいと工事は切石小より1年遅らせる事になっていたという。確かに解体工事は1年見送り令和6年度となったが、実施設計は既に始まっている。廃校後、地元では定期的に体育館の利用、地域の集まり每などで利用されていた。しかし慢性的に利活用の光熱費や管理費、経年劣化の修理費等、維持保全には限界があったと聞いている。そしてコロナ禍に突入。令和4年度の状況を聞くと、利用は僅か1団体のみ、屋根の雨漏り修理に200万円程の出費もあった。近隣住民からは、朽ちた校舎の隙間から小動物が行き来している事から衛生上の不安や、隙間が拡張すれば防犯上の心配も増え、住宅への枯れ枝の落下や倒木の危険等の苦情が複数上がっているという。当然、近隣からは議決通りに解体を要望している。先の団体ではCF等の資金調達、維持保全に向けた計画、利活用等で色々な提案が出来ると主張しているようだ。校舎の近隣に住んでいない維持保全派の願いも、校舎の価値も尊重はしたいが、政治的に見れば、民主主義的に既に決定している地域決議を優先すべきであろう。私事ながら保存への関心が薄かった事、潤沢な利活用のアイデアも出せなかった事は反省しながらも、ヘリテージマネージャーとして維持・保全・活用の矢面に立つには時すでに遅し。そして、残念だがどこか心の中で安堵している。



会 務 報 告

(令和5年8月～令和5年12月)

- | | | | |
|-----------|---|-----------|---|
| 8月1日(火) | 令和5年度事業委員会 開催
於：あきた芸術劇場ミルハス | 10月18日(水) | 建築士定期講習 受講者37人
於：北秋田市交流センター |
| 8月4日(金) | 令和5年度総務委員会 開催
於：あきた芸術劇場ミルハス | 10月25日(水) | 既存住宅状況調査技術者講習
受講者36人 於：秋田テルサ |
| 8月10日(木) | 『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』
説明会 受講者78人
於：あきた芸術劇場ミルハス | 10月26日(木) | 第65回建築士会全国大会しずおか大会
連合会理事・士会長合同会議 懇親会
淡路会長 出席
於：ホテル グランヒルズ 静岡 |
| 8月23日(水) | 令和5年度事務局職員研修会 開催
於：アトリオンビル7階 | 10月27日(金) | 第65回建築士会全国大会しずおか大会
参加者89名 於：静岡グランシップ |
| 8月29日(火) | 「ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議」
谷口理事 出席
於：秋田県議会棟1階 大会議室 | 10月27日(金) | 第37回「秋田の住宅コンクール」審査会
能上秋田中央建築士会副会長 出席
於：パーティーギャラリー イヤタカ |
| 9月2日(土) | (一社)北海道建築士会 第45回全道大会
(北空知大会) 淡路会長 出席
於：深川市文化交流ホール み・らい | 11月6日(月) | 東北ブロック建築士登録意見交換会
植田局長 出席 オンライン会議 |
| 9月10日(日) | 令和5年 二級建築士「設計製図の試験」実施
受験者48人
於：秋田県JAビル | 11月9日(木) | 建築士定期講習 受講者49人
於：大仙市大曲交流センター |
| 9月13日(水) | 令和5年度 第1回 まちづくり委員会
開催 於：あきた芸術劇場ミルハス | 11月12日(日) | あきたヘリテージマネージャー協議会
総会 淡路会長、伊藤事務局次長 出席
於：増田地区多目的研修センター |
| 9月16日(土) | 東北ブロック会 女性委員会 あおもり
大会 淡路会長 出席
於：八戸ポータルミュージアムはっち | 11月16日(木) | 令和5年度「ウッドファーストあきた木造・
木質化建築賞」及び「木材利用提案
コンクール」審査委員会 淡路会長 出席
於：秋田県JAビル 7階 会議室 |
| 9月20日(水) | 令和5年度 第3回 理事会
於：パーティーギャラリー イヤタカ | 11月18日(土) | 「第37回秋田の住宅コンクール」表彰
式 淡路会長 出席
於：秋田市にぎわい交流館 展示ホール |
| 9月30日(土) | 第45回秋田県建築士会大会 由利大会
～創立70周年記念大会～
於：安楽温泉 陽光の間 | 11月22日(水) | 令和5年度 上期監査
於：アキタパークホテル |
| 10月8日(日) | 令和5年 一級・木造建築士「設計製
図の試験」実施 受験者：一級34人、
木造0人 於：秋田県JAビル | 12月4日(月) | 東北ブロック会 令和5年度 第2回 会
長会議 淡路会長、植田局長、伊藤次
長 出席
於：ホテルグランド天空 (田沢湖) |
| 10月13日(金) | 令和5年度 ウッドファーストあきた
木造・木質化建築賞 施設説明会 淡
路会長 出席 於：大館市 各所 | 12月13日(水) | 令和5年度 第4回 理事会
於：パーティーギャラリー イヤタカ |
| 10月16日(月) | 令和5年度 ウッドファーストあきた木造・
木質化建築賞 施設説明会 淡路会長
出席 於：国際教養大学 こまち寮 | 12月18日(月) | 秋田県建設技能組合連合会 令和5年
度 合同懇親会 淡路会長 出席
於：ホテルメトロポリタン秋田 3階 |

令和5年8月～令和5年11月

地域会だより

○鹿角建築士会

令和5年

- 8月18日 令和5年度 第3回理事会（於 鹿角市交流センター）
1. 秋田県建築士会定時総会の報告
 2. 令和5年度事業について
 3. 秋田県建築士会大会（由利大会）について
 4. その他
- 9月21日 令和5年度 第1回小坂町都市計画審議会（於 小坂町役場本庁舎）
中西会長出席
- 9月30日 第45回秋田県建築士会 由利大会参加（於 安楽温泉 参加4名）
- 10月1日 令和5年度 優良建物見学会（参加3名）
- 10月26日～28日
第65回建築士会全国大会しずおか大会（参加6名）
※青年委員会：地域実践活動の東北ブロック代表発表（奨励賞）
- 11月21日 職業学習講師派遣（於 鹿角市立花輪小学校 青年委員会3名）



- 11月24日 全国大会慰労会（於 平和軒 参加7名）



○大館・北秋田建築士会

令和5年

- 7月17日 女性委員会（於 鷹巣 出席6名）
・大雨で講師が来れず中止
情報交換会のみ開催
- 7月19日 第2回青年委員会（於 中央公民館 出席6名）
・長走風穴建物の除去作業について
- 7月24日 青年委員会「長走風穴現地確認」
（於 中央公民館 出席9名）
・長走り風穴建物の堆積土除去作業に先立っての現地周辺確認
- 9月2日 女性委員会「完成建物見学会」（於 大館 参加13名）
・特別養護老人ホーム「水交苑」
- 9月30日 第45回秋田県建築士会大会由利大会（於 安楽温泉 出席7名）
- 10月1日 同上 エクスカーション（於 木のおもちゃ館・蚶満寺 参加5名）
- 10月11日 宮嶋家住宅調査（於 比内町扇田 出席10名）



10月23日 小松家住宅調査（於 比内町独鈷地内
出席7名）



- 10月26日 全国建築士フォーラム（於 静岡市
出席5名）
・各委員会別に参加
- 10月27日 第65回建築士会全国大会「しずおか大会」（於 静岡市 参加8名）
- 10月28日 同上 エクスカーション（於 Aコース 参加3名）
塩尻市歴史的建造物視察（於 塩尻市 参加4名）
- 11月12日 令和5年度あきたヘリテージマネージャー協議会総会（於 増田地区研修センター 出席3名）
・報告・連絡事項
・講習「歴史的建造物の調査」
重要伝統的建造物群保存地区選定10周年記念シンポジウム
・基調講演、経過報告、シンポジウム
- 11月13日 第3回青年委員会（於 中央公民館 出席7名）
・長走風穴2号倉庫の外観調査について
・地域づくり部会について
・年末の委員会開催について
- 11月28日 第4回青年委員会（於 かつぼう大河 出席7名）
・東北ブロック大会参加について
・懇親会
- 11月29日 第1回大館歴史的建造物研究会（於 中央公民館 出席6名）
1. 歴史的建造物の調査方法について
2. 宮嶋家および小松家の調査について
3. その他今後の事業について

○能代山本建築士会

令和5年

- 8月9日 青年部会議（於 マルヒコビルディング）
のしろ産業フェア出店について
6名参加
- 9月14日～15日
秋の有志ゴルフコンペ
- 9月14日 東奥カントリークラブ 13名参加
- 9月15日 青森カントリー倶楽部 13名参加
- 9月30日 秋田大会由利大会（於 安楽温泉）
3名参加
- 10月1日 同上 エクスカーション 1名参加
- 10月21日～22日
のしろ産業フェア（於 能代市総合体育館）初出展 パネル準備、片付け
5名参加



10月26日～29日
全国大会しずおか大会 2名参加

○秋田中央建築士会

令和5年

- 9月30日 第45回秋田県建築士会大会由利大会
（於 安楽温泉 出席20名）

10月27日 第65回建築士会全国大会「しずおか大会」(於 静岡市 参加28名)

10月28日 同上 エクスカーション (於 Aコース他 参加8名)



○由利建築士会

令和5年

8月30日 理事会 第2回三役会 (於 由利建築士会事務局)

- ・由利大会について
出欠確認及び来賓・講師、移動等の詳細
レクリエーション、懇親会アトラク

ションについて
お土産及び予算
プログラム詳細打合せ
備品の確認
出席者5名

9月6日 理事会 第2回理事会 (於 本荘由利地域職業訓練センター)

- ・由利大会について
プログラム確認
理事、女性部、青年部の役割分担
予算書について
出席者13名

9月21日 理事会 第3回三役会 (於 由利建築士会事務局)

- ・由利大会詳細について協議
来賓及び会員、会員外の出欠確認
お土産決定
レクリエーション段取り確認
懇親会詳細、二次会各人選決定
プログラム決定、シナリオ依頼決定
見学会資料など詳細確認
出席者6名

9月26日 理事会 第1回青年部会 (於 由利建築士会事務局)

- ・由利大会について
役割分担及び最終確認
出席者6名

9月30日 由利大会 (於 安楽温泉)

- 大会式典
記念講演「クロスオーバーすること」
講師：(株)工藤浩平建築設計事務所
代表取締役 工藤浩平氏
建築フォーラム 各セッション発表
- ・まちづくり委員会 (防災)
「日本建築士会連合会における災害対応の取り組み」佐々木昭仁氏
 - ・まちづくり委員会 (歴史)
「増田重伝建築地区におけるヘリテージマネージャーの関わり方」
鈴木博実氏
 - ・女性委員会
「魅力ある和の空間ガイドブック作成と地域活動の軌跡」松橋雅子氏

懇親会

参加者88名

10月1日 由利大会 エクスカーション 優良建
物見学会

・鳥海山木のおもちゃ館

・白瀬南極探検隊記念館

・蚶満寺

道の駅象潟ねむの丘にて食事及び自
由時間

参加者30名

10月11日 由利大会報告会（於 北前）

収支予算及び決算について

大会反省点など

出席者14名

10月27日～28日

第65回建築士会全国大会しずおか大会

大会式典

記念講演

まちづくりセッション

地域交流見学会 エクスカーション

参加者7名



○仙北建築士会

令和5年

8月5日 仙北地域空き家の無料相談会 佐藤副
会長出席

（於：大仙市大曲交流センター）

10月4日 美郷町都市計画審議会 小田島会長出
席 （於：美郷町役場本庁舎2階）

10月21日～22日

大仙市秋の稔りフェア出展 青年委
員・女性委員 （於：大曲ヒカリオ）

10月27日～29日

第65回建築士会全国大会しずおか大会

参加 16名参加



○横手建築士会

令和5年

9月6日 第2回理事会 14:00～15:00（於
サンサン横手）

1. 会務報告（県本部）

・令和5年6月29日 令和5年度
定時会員総会報告

2. 議題

①第65回全国大会 しずおか大会

・補助金について

②第45回秋田県建築士会由利大会

・補助金について

③その他

・新年会と第3回理事会について
令和1月26日（金）

理事会17:00～18:00

新年会18:00～20:00

・あきた浸水被害住宅相談員の登
録について

9月30日 第45回秋田県建築士会由利大会（於

安楽温泉)

参加 7名

10月26日～10月29日

第65回全国大会 しずおか大会

(於 グランシップ) 参加 16名

○湯沢雄勝建築士会

令和5年

9月30日 第45回(一社)秋田県建築士会大会
由利大会

参加者 4名

10月17日 令和5年第2回理事会(於 湯沢市庁
舎会議室 15:00～17:00)

1. 令和6年度秋田県建築士会「湯沢
雄勝大会」について

2. その他

出席者 15名

10月27日 第65回建築士会全国大会「しずおか大
会」 参加者 2名

11月10日 湯沢市「湯沢の歴史再発見 建物探訪」
(9:00～13:00)

石孫本店・岩崎八幡神社・四同舎

スタッフ参加者 5名





夢への近道、
見つけた！

一人ひとりに寄り添った最適解の提供で合格へ導きます。
あなたの答えの一番近くに

**1級建築士
合格実績** **No.1**

日建学院 1993年～2022年の合格実績

1級建築士 合格者 (146,291人)	76,529人	52.3%
----------------------------	---------	-------

この30年間に誕生した1級建築士の半数以上が日建学院の受講生です！

※上記合格実績は(公)日建学院技術普及センター発表資料(1993～2022年)のデータです。

総合満足度 No.1
顧客満足度 No.1

建築士満足

No.1

日本マーケティングリサーチ機構 調査期間:2021年9月～ 顧客満足度調査

- ※リポート満足度
- ※使用教材の満足度
- ※カリキュラム充実度
- ※価格の満足度
- ※設備体制学習環境の充実度
- ※教員の対応サポート力
- ※受講者の最適なコース提案力
- ※感謝対策の満足度

あなたの夢、応援します。
日建学院

資料請求・各種お問い合わせは下記までお気軽にどうぞ！

秋田校
TEL.018-801-7070
〒010-0001 秋田県秋田市中通6-7-9 秋田県畜産会館2F



2024

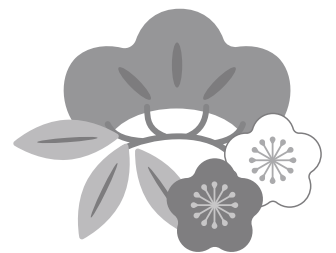
新春を迎え平素のご厚情
を深謝し、皆様のご健康
とご多幸をお祈り申し上
げます。



一般社団法人 秋田県建築士会

〒010-0001
秋田市中通2-3-8アトリオン5階
(一財)秋田県建築住宅センター内
TEL 018-827-3718
FAX 018-827-3873

会 長	淡 路 孝 次	理 事	佐 藤 吉 則
副 会 長	中 西 純 悦		工 藤 博 臣
	加 藤 一 成		佐 藤 賢 一
	佐 藤 隆 志		黒 田 一 稔
専務理事	小田島 誠 子		山 脇 一 樹
常務理事	松 橋 雅 子		草 薙 涉
	大 高 勇 博		熊 谷 昌 剛
	鈴 石 博 実		加 藤 一 喜
理 事	戸 館 康 博		清 水 川 道 子
	三 浦 司 徹	監 事	安 達 真 由 美
	櫻 庭 孝 則		齊 藤 留 美 子
	赤 川 孝 則		山 脇 成 吉
	小 原 正 明		根 知 宏
	谷 口 満 州 美		



謹賀新年

令和6年元旦

鹿角建築士会

住所 〒018-5201 鹿角市花輪字下夕町212-12 阿部設計内
TEL 0186-23-7211 FAX 0186-23-7212

顧問 阿部秀一 和田寛
会長 中西純悦 高屋廣美
副会長 神田幸憲
専務理事 児玉安広
総務理事 金沢拓博
会計理事 戸館康博
理事 阿部悦志朗 畠山泰三 石川忠晴 金澤宏樹 木村金光
監事 黒沢賢 山見玉正彦 山口昭彦 石安 保 尊 石木田 まり子

謹賀新年

令和6年元旦

〒018-5334 秋田県鹿角市十和田毛馬内字森崎17-1



有限会社
十和田板金工業所
十和田建築設計事務所

代表取締役 柳 沢 富美男

TEL (0186)30-3500 FAX (0186)30-3600

謹賀新年

令和6年元旦

設計・監理



中西建築設計事務所

主宰 中西純悦

秋田県鹿角市花輪字柴切田15-3
PHONE 0186-22-1400
FAX 0186-22-4025

謹賀新年

令和6年元旦

設計・監理 一級建築士事務所



代表 阿部秀一
管理建築士 児玉安広

〒018-5201
秋田県鹿角市花輪字下夕町212-12
TEL 0186-23-7211
FAX 0186-23-7212

謹賀新年

令和6年元旦



設計・監理 松谷建築設計
代表 戸館康博

鹿角市八幡平字松館60-1
TEL・FAX : 0186-30-5240



謹賀新年

令和6年元旦

大館・北秋田建築士会

住所 〒017-0046 大館市清水一丁目5-4 (有)石川建築内
TEL 0186-59-6665 FAX 0186-42-1943

顧問 相談 会副 専務 理事 常務 理事	近藤 松中 藤岡 橋川 三石 信濃 坂熊 奈良	教裕 子明 司成 久克 剛正	福原 淳嗣 長谷部 徹 武島 石安 赤	石山 垣達 平	大富 美浩 孝真 由美 雄	津谷 永光 小笠原 寿 齊三 安 藤浦 部 留美子 人樹	鳥北 湯村 宏一 晴 小林 一男 高田 敏雄
--	----------------------------------	----------------------	------------------------------	------------	------------------------	--	---------------------------------

謹賀新年

令和6年元旦

地域を動かす仕事を。



株式会社吉田産業

- 大館支店 支店長 長内 英彌
〒017-0878 秋田県大館市川口字上野85-1
TEL 0186-43-2233 FAX 0186-43-2232
- 能代営業所 所長 佐藤 馨
〒016-0884 秋田県能代市卸町2-7
TEL 0185-54-2602 FAX 0185-54-8458

謹賀新年

令和6年元旦

床材の決定版
環境にやさしい天然素材

床材・壁材・階段材・カウンター (JAS認定工場)

藤島木材工業株式会社
藤島林産株式会社

☎018-3301 北秋田市綴子字田中下モ31
TEL 0186(62)0390~1
FAX 0186(62)0392

謹賀新年

令和6年元旦



おかげさまで会社設立141年
建設から暮らしまで

カクヒロ

株式会社角弘大館支店

☎017-0044 大館市御成町一丁目16番10号
TEL0186-42-3041 FAX0186-49-0985
URL <http://www.kakuhiro.co.jp/>

謹賀新年

令和6年元旦

人のそばに、夢のそばに。

山二建設資材株式会社
大館営業所

〒017-0838
秋田県大館市山館字八幡下150
TEL 0186(42)7521
FAX 0186(42)7520
URL <http://www.yamani-ks.co.jp/>

謹賀新年

令和5年元旦

屋根・壁・太陽光発電…創エネで未来をリード



株式会社セキノ興産
大館店

〒017-0836
秋田県大館市池内字中台300
TEL (0186) 42-7611
FAX (0186) 42-7613

謹賀新年

令和5年元旦

工事は地元の信頼できる
工務店にお任せ

〈住まいづくりに奉仕する〉



三浦木材株式会社

代表取締役 三浦 功 達

〒017-0031 大館市上代野字上代野5-1
TEL 0186-48-5811
FAX 0186-48-5814

国土交通大臣認定Hグレード工場
秋田県知事許可第2598号

藤嶋鉄工株式会社

代表取締役社長 佐々木 洋

〒017-0876 秋田県大館市餅田向田1番地
TEL 0186-49-2288(代)

謹賀新年

令和6年元旦

創造と挑戦は続く

TEKO

東光鉄工株式会社

代表取締役会長 虻川 東雄
代表取締役社長 菅原 訪順

〒017-0012 秋田県大館市釈迦内字稲荷山下19-1
(TEL)0186-48-3234 (FAX)0186-48-5922
<https://www.toko-tekko.co.jp>

仙台営業所／東京営業所
釈迦内工場／花岡工場／本宮工場
東光雪沢テクノパーク



〒018-5751 秋田県大館市二井田字前田野5-2

TEL 0186-59-8102

FAX 0186-59-8103

<https://kaidan.biz>

謹賀新年

令和6年元旦

能代山本建築士会

住 所 〒016-0114 能代市字中悪戸1-2 株式会社鈴喜代内
TEL 0185-58-5556 FAX 0185-58-5565

顧問 相会 副理	問役 談長 会長 副事	中松大 櫻佐々 相鈴 加	田谷高 庭木 原木 藤	福政 勇次 隆一	潤三 勇徹 幸郎 宏喜	熊長 西今 中藤	谷門 方井 田田	勝雅 哉見 一越 剛	田村 池田 喜代 宣保	幸坂 藤田 誠	徹
----------------	----------------------	-----------------------	----------------------	----------------	----------------------	----------------	----------------	---------------------	----------------------	---------------	---

謹賀新年

令和6年元旦



KAN ARCHITECTS & ENGINEERES

設計集団 **環** 協同組合

代表理事 佐藤 友一

〒016-0811 秋田県能代市日吉町20-25
TEL0185-55-0022・FAX0185-55-0023

謹賀新年

令和6年元旦

ISO9001認証取得



中田建設株式会社

NAKATA

代表取締役社長 中田 赳

本社 〒010-0951 秋田市山王五丁目9番2号
TEL018(864)3211(代) FAX018(864)3216
能代本店 〒016-0804 能代市万町4番29号
TEL0185(54)3911(代) FAX0185(55)0226

謹賀新年

令和6年元旦

建築工事・不動産

熊谷建設株式会社

〒016-0015

秋田県能代市須田字屋布添76番地1

TEL0185-54-4600

FAX0185-54-4107

謹賀新年

令和6年元旦

秋田中央建築士会

住所 〒010-0001 秋田市中通2-3-8 秋田アトリオンビル5F
TEL 018-836-7850 FAX 018-836-7852

相談役	淡路 孝次	路田 久美子	小湯 哲夫	櫻庭 星治	鈴木 玲子	田仲 雅美
会長	加藤 一	藤口 満州美	能上 崇	植田 一	大友 実	小原 正
副会長	伊藤 赤北	藤川 孝一	井上 玉	佐々木 昭	佐々木 光	西 慎太郎
会計理事	佐藤 畑	藤山 一	小鈴 原	相馬 浦	徳光 康	原 藤村
理事	伊藤 藤	藤山 英	藤 重	三	若	明温聖

謹賀新年

令和6年元旦

Akita Association of Architectural and Design

一般社団法人 秋田県建築士事務所協会



会長 村田 良太 (有)村田弘建築設計事務所)
 副会長 佐藤 幸喜 (株)草階建築創作所)
 副会長 佐藤 友一 (設計集団環協同組合)
 副会長 清水川 隆 (有)創建築設計事務所)
 専務理事 花田 順 (有)花田設計事務所)
 理事 一同

〒010-0951 秋田市山王三丁目1番7号 東カンビル6階
電話 018-865-1225 FAX 018-865-1293
URL: <https://akitafao.jp> Email: akitafao@cocoa.ocn.ne.jp

謹賀新年

令和6年元旦

秋田県建築物定期報告調査・検査協会

【事務局】

〒010-0953

秋田市山王中園町10番33号

☎(FAX兼用)018-865-1540

会長 田中 寿一

副会長 松橋 孝則

副会長 松塚 榮

理事 信濃屋豊久

理事 嶋崎 辰雄

理事 遠藤 暁

監事 高橋 良平

相談役 三平 光一

相談役 鈴木 誠一

理事 柳谷 吉信

理事 熊谷 俊一

理事 加納 静佳

監事 渡邊 啓宇

謹賀新年

令和6年元旦

建築物の中性化・被害軽減から予防保全まで

リフリート®工法

調査・検査・診断から施工まで
一貫したサービスを提供

秋田県リフリート工法施工技術協会

〒010-0953 秋田市山王中園町10番33号

TEL 018-865-1540
FAX 018-865-1540

<会 員 名 簿>

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社加賀昭塗装	018-845-1247	株式会社フジバン	018-866-2235
株式会社黒澤塗装工業	018-835-1084	有限会社藤義塗装	018-834-9064
栄塗装有限公司	018-847-2901	丸谷塗装工業株式会社	018-823-8581
三建塗装株式会社	018-862-5484	株式会社三國	018-884-6888
株式会社タカベン	018-823-1373	有限会社環清工業	0183-72-0038
株式会社ナカセ	0187-56-2262	有限会社久保上左官工業	0183-73-4140
有限会社美工会塗装工業	018-816-0145	株式会社アール シーテック	018-853-1609
平野塗装工業株式会社	018-863-8555		

「本協会の活動は、建築物の調査・検査・診断から施工まで、一貫したサービスを提供することにより、建築物の予防保全に貢献することです。」

謹賀新年

令和6年元旦

(一社)日本塗装工業会会員 (一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会会員
外壁改修工法リフリート工業会会員 NETIS 登録番号 KTK 15007-A

三建塗装株式会社

代表取締役 飛鳥 淳

本 社 秋田百外地町字田中町番地
TEL 018-845-2151/8400
FAX 018-845-2156/4
URL: <http://www.sanben.paint.com>

大田支店 大田市戸地谷字川前359番地
TEL 0187-683-8035
FAX 0187-683-8036

謹賀新年

令和6年元旦



総合建設業／一級建築士事務所

株式会社 長谷駒組

代表取締役 長谷川 尚運

〒010-0011 秋田県秋田市東2-10

TEL.018(88)475-1100 FAX.018(88)473437

謹賀新年

令和6年元旦

代表取締役 足利 健



総合建設業

株式会社 足利工務店

〒019-2601

秋田市河辺和田字岡村239

電話／018-882-2059・ファックス／882-2153

仙台営業所

仙台市宮城野区鶴巻2丁目3-43

TEL.022-781-6301 FAX.022-781-6302

謹賀新年

令和6年元旦

技術と信頼で明日を拓く

互大設備工業株式会社

代表取締役 脇 辰 憲 一

本社 秋田市添川字境内川原228-27

TEL018-833-9270

謹賀新年

令和6年元旦



一般社団法人

秋田県設備設計事務所協会

会長 岸 和 章

副会長 酒 田 静 雄

専務理事 小 林 健 太

〒010-0951

秋田市山王 3-1-7 東カンビル 7F

TEL018-863-7156 FAX018-863-7127

謹賀新年

令和6年元旦

電気・電気通信・消防施設・機械器具設置・設計施工

羽後電設工業株式会社

代表取締役社長 七 山 慎 一

●本社・秋田営業所

秋田県大船イオンビル115-25 ☎(86)210034 FAX(86)210109

●対象工事 配 線 工 事 電 線 工 事 大 工 事 電 機 工 事 大 修 工 事

電 機 工 事 電 機 工 事 電 機 工 事 電 機 工 事

止 止 止 止

<https://www.ugodensetsu.co.jp/>

謹賀新年

令和6年元旦

金子サッシ

株式会社 KANEKO

代表取締役 田 村 伸 一

〒010-1617

秋田市新屋松美ガ丘東町2番15号

TEL(018)863-1717 FAX(018)863-9234

謹賀新年

令和6年元旦

屋根工事・板金工事・ステンレス金物工事施工
ENEOS災害対応型中核給油所
EV・PHV急速充電器設置

 **石井商事株式会社**

代表取締役社長 石井 広樹

本社・工事部／南秋田郡八郎潟町川崎字屋敷17-4
TEL 018(875)2431・FAX 018(875)4245
ガソリンスタンド／南秋田郡五城目町大川大川字大塚41-1
TEL 018(875)2620

謹賀新年

令和6年元旦



東部ガス株式会社 秋田支社

取締役支社長 石川 真也

〒010-0029
秋田市橋山川口境1番1号
TEL : 018-832-6595 FAX : 018-832-2116

謹賀新年

令和6年元旦

一般社団法人 **秋田県空調衛生工事業協会**

会長 阿部 公雄
副会長 間 渕 利夫
副会長 佐藤 裕之
副会長 遠 田 博士

秋田市山王臨海町3-18 TEL (018)824-7761

謹賀新年

令和6年元旦

設計・監理 一級建築士事務所
株式会社 クリエイテライフ


Creative Life

代表取締役 淡路 孝次

〒010-0802 秋田市外旭川字三後田266-2
TEL 018-868-5352 FAX 018-868-5348
E-mail creativelife@iaa.itkeeper.ne.jp

謹賀新年

令和6年元旦

一級建築士事務所
有限会社 村田弘建築設計事務所

代表取締役社長 村田良太

■本社
〒010-0971 秋田市八橋三和町18番15号
TEL 018-823-4345(代)
FAX 018-823-4328
<https://www.mrt-arch.co.jp/>

謹賀新年

令和6年元旦

冷暖房空調衛生設備から
上下水道設備・設計・施工
人のそばに、夢のそばに
山二施設工業株式会社

代表取締役社長 阿部 公雄



本社／〒010-0961 秋田市山王五丁目1-7
TEL 018-823-8146
支店／橋手 営業所／大館・本荘・能代・湯上・男鹿
<http://www.yamanishi.co.jp>

謹賀新年

令和6年元旦

ホームページ



近代立平屋根様式

5&W工法

通し冠子一体型の水密性に優れた屋根工法



近代横置屋根様式

柱目FLEX

「柱目」を調整させる新断面デザイン



有限会社 秋田 株式会社
SEKINO **セキノ興産**

株式会社 セキノ興産 秋田店
☎ 018-880-2323 FAX 018-880-2221
〒011-0914 秋田市船場字藪丁大曾地1-7

謹賀新年

令和6年元旦



HAN ARCHITECT OFFICE

株式会社 汎建築設計事務所

〒010-0854 秋田市山王町1-1-1

TEL 010-0854-21511
FAX 010-0854-21512
E-MAIL info@han-architect.com

謹賀新年

令和6年元旦

全国製造業工事 地下工事

株式会社 **小島商事**

代表取締役 千羽 政直

秋田県十和田市西内町1-12 TEL 0181-6451462

謹賀新年

令和6年元旦

ゆたかな人間環境の創造



株式会社

コスモス設計

COSMOS DESIGN

代表取締役 安田 勇二

秋田市川尻町大川反233-49

☎018-824-0048

謹賀新年

令和6年元旦

塗装工事

一般社団法人 日本塗装工業会 会員

今 株式会社 **佐々英塗装**

代表取締役 佐々英 啓

〒010-0854 秋田市山王町1-1-1
TEL 010-0854-21511
FAX 010-0854-21512

謹賀新年

令和6年元旦



木のめぐり つたえたい
株式会社 **角 繁**

代表取締役社長

渡 邊 悠

- 秋田本社
- 秋田事業センター
- 秋田プレカットセンター
- 仙台支店
- 山形支店
- 福島支店
- いわき営業所

謹賀新年

令和6年元旦



株式会社 **浜田建設**

〒010-1654 秋田市浜田字長坂20番地
TEL (018) 828-9082 FAX (018) 828-4830

謹賀新年

令和6年元旦



代表取締役 渡邊 光

〒010-0941
秋田市川尻大川反170-42
TEL: 018(838)7343
FAX: 018(838)7437

謹賀新年

令和6年元旦

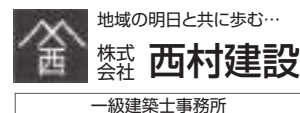


代表取締役 大友 実

〒010-0061
秋田市卸町一丁目10-1
☎018-823-2848 FAX018-823-2853
E-mail ootomo@cna.ne.jp

謹賀新年

令和6年元旦



代表取締役
西村 聖
Sei Nishimura

一級建築士・一級建築施工管理技士

〒010-0201 湯上市天王字中分水2-1
Phone.(018)878-4815 Fax.(018)878-2708
E-mail:nishiken@vesta.ocn.ne.jp
<https://www.nishimura-kensetu.com>

謹賀新年

令和6年元旦

総合建設業／一級建築士事務所
国土交通大臣認定Jグレード工場



代表取締役 渡部 俊 省

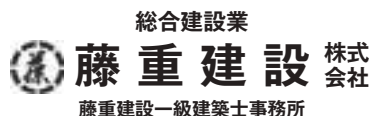
〒010-1601
秋田市向浜2丁目1-1
TEL/018-865-2363



謹賀新年

令和6年元旦

未来を築き地域社会に奉仕する



代表取締役 佐藤 重 明

〒011-0951
秋田県秋田市土崎港相染町浜ナシ山62
TEL 018-845-2639・FAX 018-845-8836
E-mail: fk-ace@estate.ocn.ne.jp

謹賀新年

令和6年元旦



〒981-3195 仙台市泉区加茂1丁目48番地の2
TEL (022) 377-1711 FAX (022) 377-9075
E-mail: sendai-eigyosn-hoki.co.jp

謹賀新年

令和6年元旦



〒010-0951 秋田市山王3-8-34 (山王ツインビル)
TEL 018-862-8002 FAX 018-865-2490
URL <http://www.kk-tomiya.co.jp>

謹賀新年

令和6年元旦



秋田協同印刷株式会社

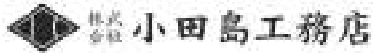
代表取締役 赤川 靖 宏

〒010-0976
秋田市八橋南二丁目10-34
TEL.018-823-7477(代)
FAX.018-824-2864
<https://www.akyodo.co.jp>



謹賀新年

令和6年元旦



一級建築士事務所
代表取締役 小田島 誠

〒019-1234
秋田県仙北郡美郷町飯詰字北中島46番地5
TEL 0187-82-1314
FAX 0187-82-1660
URL <https://www.odasima.co.jp>

謹賀新年

令和6年元旦

よりよい形をつくり、
街をつくり、社会をつくる



代表取締役 齋藤 靖

本社
〒014-0072
秋田県大仙市大曲西根字西道地野502番地2
TEL(0187)68-2288(代)
FAX(0187)68-4488

謹賀新年

令和6年元旦



移りゆく時代と共に 皆様のおかげで59年



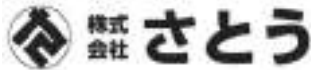
代表取締役 草薙 渉

〒014-0062
秋田県大仙市大曲上栄町13番60号
TEL0187-62-4320 FAX0187-62-0213

謹賀新年

令和6年元旦

信頼と技術で快適な空間を創造する
総合建築業 建築設計・施工
ISO9001：2015取得



代表取締役 佐藤 賢一
取締役会長 佐藤 富彦

〒014-1412 秋田県大仙市藤木字東八圭68-5
TEL(0187)65-3232(代) FAX(0187)65-3350
URL <http://kksatou.jp/>

謹賀新年

令和6年元旦



建設資材の総合商社



代表取締役社長 田口 清光
所長 大塚 勝也

本社 秋田市御所野湯本三丁目1番5号
TEL 018 (826) 0300
大曲営業所 大仙市下深井字板口端39
TEL 0187 (62) 2631
FAX 0187 (63) 5944

謹賀新年

令和6年元旦



MORE CREATIVE ASSOCIATES

一級建築士事務所

株式会社 エムシーエー建築設計

代表取締役 小林 康彦

〒014-0068 秋田県大仙市大曲飯田町1-8
TEL 0187-62-5480 / FAX 0187-66-1955
URL <https://mca-archi.com/>

謹賀新年

令和6年元旦

設計・監理 一級建築士事務所



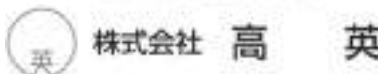
代表取締役 泉谷 昭一

〒014-0064
秋田県大仙市小曲高根字中倉茂66番地17
TEL:0187-63-6355 FAX:0187-63-6395

謹賀新年

令和6年元旦

緑のやすらぎをあなたの住まいに



代表取締役社長 長谷川 順一

〒019-1404
秋田県仙北郡美郷町六郷字小安門200
TEL 0187-84-4111 FAX 0187-84-4112

謹賀新年

令和6年元旦

緑豊かな地域環境を創造する



代表取締役 安宅信之



本社 〒019-1611
秋田県大仙市太田町斉内字高野1番地434
TEL0187-89-1233 FAX0187-89-1233
秋田支店 〒010-0953
秋田県秋田市山王中園町10番地2

謹賀新年

令和6年元旦

横手建築士会

住所 〒019-1108 横手市山内土測字茂竹8-5 照井郁人建築設計事務所内
TEL 0182-53-2650 FAX 0182-53-3450

相談役 会副理	大輝男 鈴石実 黒田稔 山田均 堀川一 野寺悦 高野橋 鈴木村 岩忠	川輝男 鈴石実 千大均 大遠一 佐遠悦 佐道 鈴行	金川 沢本 純木 治一 照義 井悦 郁克 人時 幸夫 利彦 夫敏 子	照高橋 井高橋 郁田藤 人橋橋 幸信克 夫利彦 利敏子	幸夫利彦敏子	亀井北齋佐	沢嶋藤	洋清智光	平美裕義	岩佐佐高	村藤荒	優藤荒	幸明方一
------------	--	---	---	---	--------	-------	-----	------	------	------	-----	-----	------

謹賀新年

令和6年元旦



(有)久米一級建築設計事務所

代表取締役 久米 征子

〒013-0035 秋田県横手市平和町6番3号
TEL 0182 (32) 1347
FAX 0182 (32) 1319
E-mail kume2@sea.plala.or.jp

謹賀新年

令和6年元旦



株式会社 近 建築設計事務所

一級建築士事務所

〒019-0503
秋田県横手市十字町西原一番町8番地
TEL (0182) 42-1388
FAX (0182) 42-1399

謹賀新年

令和6年元旦



伊藤建設工業株式会社

品質 ISO9001 認証企業
環境 ISO14001

代表取締役 中村 清昭

本社 秋田県横手市大町5番19号
TEL 0182(32)3960(代)
FAX 0182(32)3964
秋田営業所 秋田市山王六丁目1番13号
山王プレビル3階
TEL 018 (863) 5530

謹賀新年

令和6年元旦



YOKOTE 横手建設(株)

秋田県横手市前郷二番町7-13
Phone 0182(32)1697(代)

謹賀新年

令和6年元旦

自然と共に、“未来を創造”

品質 ISO9001 認証企業
環境 ISO14001



本社：秋田県横手市駅前町13番8号
TEL 0182(32)2680
FAX 0182(32)7500

謹賀新年

令和6年元旦

一級建築士事務所

有限会社 ミツイ設計

代表取締役 金沢 純治

〒013-0035 秋田県横手市平和町11-5
TEL 0182-33-1011
FAX 0182-38-8848
E-mail y-mitui@wonder.ocn.ne.jp

謹賀新年

令和6年元旦

有限会社
大嶋建築設計事務所

代表取締役 大嶋輝男

横浜市朝日が丘三丁目6-2

TEL 0182-33-1452

FAX 0182-33-2729

E-mail Oshima@ruby.ocn.ne.jp

謹賀新年

令和6年元旦

 株式会社 半田工務店

本社：〒013-0043
横浜市安田字塚端9番地1
TEL0182-33-0300 / FAX0182-33-0303

秋田営業所：〒010-0963
秋田市八橋大沼町1番3号
TEL018-863-8635 / FAX018-863-8497

謹賀新年

令和6年元旦



信頼・創造

株式会社 大和組

秋田県横手市平和町10番30号

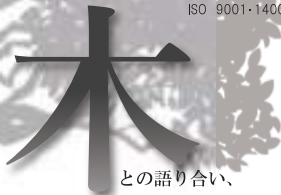
電話 0182-32-3434

FAX 0182-32-3499

謹賀新年

令和6年元旦

ISO 9001・14001 認証取得



との語り合い、
それが私たちの会社です。

株式会社
小松木工

本社 | 秋田県横手市大雄字田村 66-5
☎0182-52-2149

大仙営業所 | 秋田県大仙市大曲黒瀬町 6-26
☎0187-73-7570



謹賀新年

令和6年元旦

湯沢雄勝建築士会

〒012-0037 湯沢市字沖鶴194-12 シグマ企画加納設計内
TEL 0183-73-6797 FAX 0183-73-6837

相談役	佐藤清次	山脇一樹	今康博	佐藤重志	由利茂広
会長	佐藤清次	山脇一樹	今康博	佐藤重志	由利茂広
副会長	清水川	高橋村	清水川	佐藤全子	(女性部長)
理事	鈴木加藤	仲大広	利靖	加納静佳	
監事	伊藤	佐々木	加藤	加納	阿部俊介
	伊藤	佐々木	加藤	加納	阿部俊介

謹 賀 新 年

令和6年元旦

秋 田 地 区 電 気 技 術 協 議 会

〒011-0811 秋田市飯島字砂田26-9 奥羽電気設備株式会社秋田営業所内
TEL: 018-845-9795 FAX: 018-846-8155 E-mail: os-wsaki@wincem.co.jp

会 長	工 藤 一 則	奥羽電気設備株式会社秋田営業所
副 会 長	伊 藤 俊 也	伊 藤 電 気 株
会 計 幹 事	大 友 正 敏	羽 後 電 設 工 業 (株)
技 術 担 当 幹 事	仲 野 谷 崇	(有) 伸 和 電 工
企 画 担 当 幹 事	池 田 勝 彦	(有) 池 田 電 機 工 事
経 務 担 当 幹 事	小 林 茂 誠	小 林 電 設 (株)
監 事	藤 田 忠 彦	松 澤 電 気 工 事 株
監 事	時 田 祐 司	時 田 電 機 工 業 株

(正 会 員)

秋田電機建設株

姉帯電気工業株

(株)石郷岡電気工業

(株)大塚電機工業

(株)加島電気工事

(株)柏谷電工

工藤電気工事株

千代田電気工業株

仁賀保電機工業株

株)布谷電機

株)ヌノタニ

本荘電気工業株

日本海建設電気株

(株)ライトン

新入会員からのメッセージ



秋田中央建築士会
高橋 耕太

みなさま初めまして！今年から秋田中央建築士会でお世話になります高橋耕太です。花田設計事務所で建築設計を担当しています。30代前半のまだまだ若輩者ではございますがよろしくお願いいたします。



横手建築士会
阿部 徹

この度入会させていただきました、阿部徹と申します。
県内各地区の建築士会の皆様との交流や情報交換を通じて自身のスキルを磨いていきたいと考えております。また、秋田県建築士会の活動は地域の発展にもつながっておりますので、会員の皆様とともに、これから活動させていただくことを光栄に思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

事務局だより

◆令和5年度(公社)日本建築士会連合会 第2回東北ブロック会会長会議◆

日時：令和5年12月4日(月)

場所：仙北市田沢湖 ホテルグランド天空

建築士会第2回会長会議が仙北市で開催されました。東北各県会長様、及び北海道建築士会会長様ご出席され、(公社)日本建築士会連合会の近角眞一会長様、藤本専務理事様を来賓としてお迎えいたしました。

審議は、東北ブロック会事業についての他、次期連合会役員改選等について審議されました。結果、次年



東北ブロック会会長会議

度より幹事県を宮城県建築士会が担うこととなり、当県の幹事は今年度限りとなりました。また令和10年の岩手大会への協力について、ブロック会にて出来る限りの支援を行うことを決議いたしました。

◆建築士定期講習◆

令和5年度の（一社）秋田県建築士会が開催した建築士定期講習の概要（中間）を報告いたします。

CPD：6単位

月日	会場	定員	受講者
7月26日（水）	秋田市文化会館	80	50
10月18日（水）	北秋田市交流センター	60	37
11月9日（木）	大仙市大曲交流センター	80	49
3月6日（水）	秋田テルサ	80	未開催

今年度は受講者が減少しております。WEB講習の影響もあり、北秋田市開催は40名を割り込みDVD講習となりました。講習会受講者数は、当会の事業収益に大きく影響いたします。会員の皆様は、出来るだけ当会主催の定期講習を受講してください。3月の秋田市開催は秋田テルサで実施されます。



大仙市大曲交流センター

◆建築士試験◆

令和5年度の建築士試験の実受験数と合格人数（名）

項目		一級	二級	木造
・学科の試験				
実受験者	(a)	108	111	0
合格者	(b)	17	21	0
合格率	(b) ÷ (a)	15.7%	18.9%	0%
(全国合格率)		16.2%	35.0%	65.2%
・設計製図の試験				
実受験者	(c)	34	41	0
内、製図から	(d)	20	20	0
最終合格者	(e)	8	14	0
合格率	(e) ÷ (c)	23.5%	34.1%	- %
(全国合格率)		33.2%	49.9%	70.4%
最終合格率	(e) ÷ {(a) + (d)}	6.3%	10.7%	0%
(全国最終合格率)		9.9%	22.3%	44.5%

令和5年度の二級建築士合格者は、14名で前年度（R4：29名、R3：41名）を大幅に下回りました。特に「学科の試験」合格者は全国平均より大幅に低い水準となりました。また、木造建築士は合格者無し、一級建築士合格者は、8名（昨年6名）の方が合格されました。

建築士法改正により、受験資格から実務を除いたことから受験者数が増えるとの情報がありましたが、二級建築士・一級建築士共、100名強で推移しております。

◆建築甲子園◆

2023年 第14回 高校生の「建築甲子園」が実施されました。今年のテーマは、「ゆめを・希望を・未来をみんなで作る」です。

今年は、秋田県立大曲工業高等学校より応募がありました。秋田県予選は選考委員（事業委員会の広報・教育支援部会の委員10名）による採点方式で行われ、結果、下記の作品が県予選を経て全国大会へ進出いたしました。

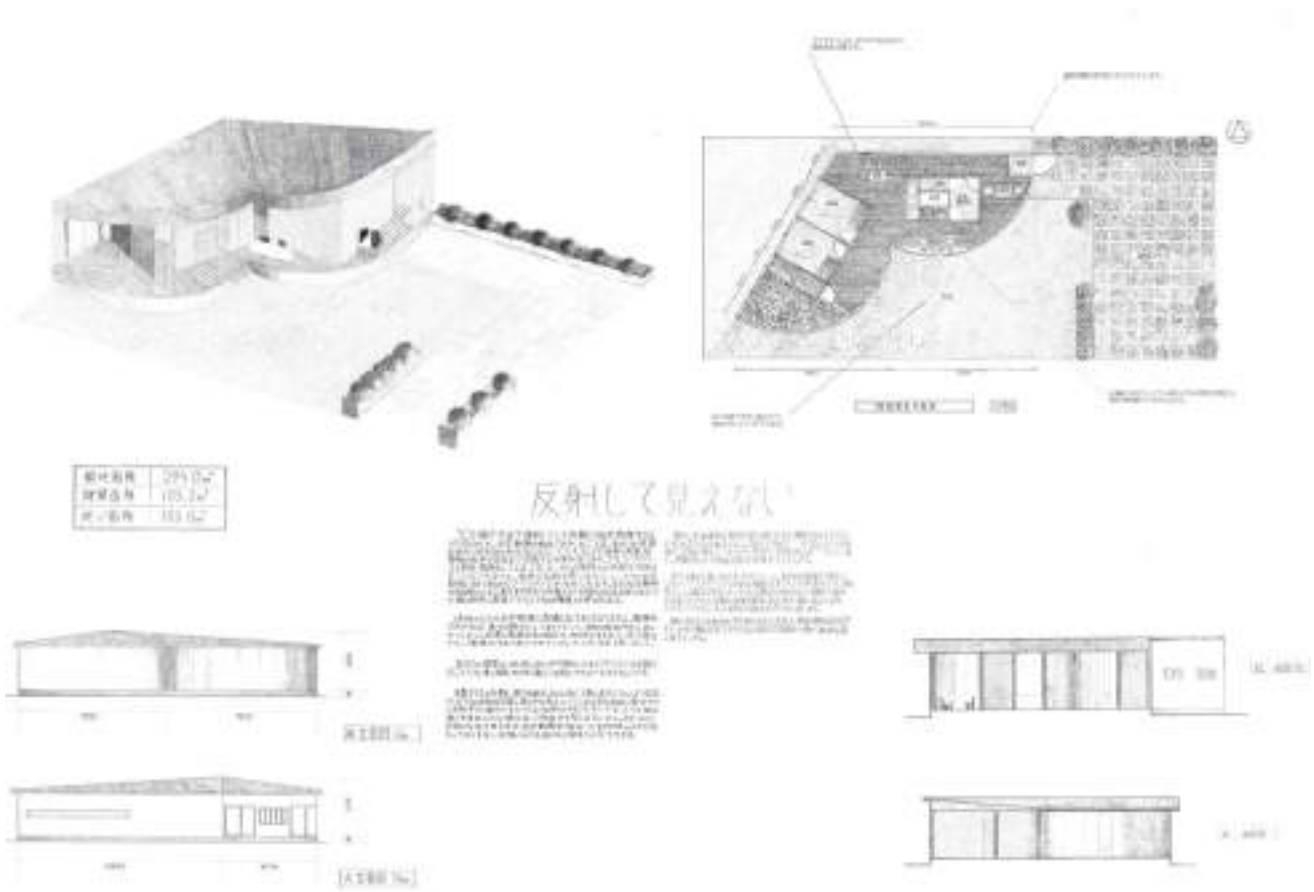


◇作品 反射して見えない

大曲工業高等学校

監督（教員） 川崎 知之 先生

選手（生徒） 池田 彩音 さん（3学年）、佐々木璃子 さん（3学年）



◇審査結果 評価点：14.1点（25点満点）

審査委員長：戸館康博（鹿角：事業委員会 広報・教育支援部会長）

同副委員長：谷口満州（中央：事業委員会 広報・教育支援部副会長）

審査員：黒沢 賢（鹿角）、長谷部徹（大館北秋田）、田村喜代宣（能代山本）、大友 実（秋田中央）、佐藤孝一（由利）、岡田茂義（仙北）、川本一義（横手）、由利 靖（湯沢雄勝）



〈主な講評〉

- ・今回の求められた課題には少々合致しない感じではあるが、型にはまらない世界的な問題意識を持った自由な提案で興味深い作品である。
- ・国際的な視点で考えたところは良かったと思う。
- ・着眼点や発想は素晴らしいが、提案力、具体性や表現力に欠ける。
- ・「与えられた条件を理解するまで読み込み、わからない点は調べ、要求を満たした表現をする」ことが必要である。建築の仕事・資格試験にも共通する基本である。
- ・プレゼン（提案書）は、提案者以外の人に伝える唯一の手段であるため、わかりやすく伝わりやすい表現が必要である。

尚、全国大会の結果は、(公社)日本建築士会連合会のホームページで公表されます。

◆秋田県建築士会 浸水被害住宅の対応に関する報告◆

この度の記録的豪雨により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

令和5年7月15日に発生した豪雨により、県内では多くの住宅が甚大な被害を受けました。我々建築士には、被災住宅の復旧にあたり果たすべき大きな役割があるものと考えております。本災害に対して当会が行った対応を報告いたします。

○7月15日に発生した豪雨災害による住宅関連の被害状況 ※11/7現在

- ・秋田県全域 住戸被害 6984棟
- 秋田市 5727棟のうち、全壊11・半壊2417、一部破損20、(床上598・床下2681)
- 五城目町 604棟のうち、半壊377、(床上62・床下165)
- 能代市 312棟のうち、半壊108、(床上7・床下197)

※9月19日に発生した浸水被害 秋田市 306棟のうち、(床上108・床下198)

○秋田県建築士会「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」説明会【開催報告】

日本建築士会連合会災害対策委員会では、昨年度『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』を策定したところですが、早期の対応が求められることから、全国に先駆けてマニュアル説明会を開催いたしました。

- ◆開催日 令和5年8月10日(木) 14:30～16:10 (14:10受付開始)
受講者員78名 ※行政関係者25名、一般53名(内、施工関係者41名)
- ◆講習会場 あきた芸術劇場ミルハス 地下1階 小ホールB
- ◆対象 建築士(会員、非会員共)、行政職員、関係者他
- ◆受講料 無料
- ◆テキスト、資料

- ・「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」((公社)日本建築士会連合会) テキスト
- ・令和元年東日本台風災害等から学ぶ被災者支援活動のあり方 【資料1】
- ・令和元年台風19号被災者支援建築・住宅相談実施要領(相談実務編:抜粋版)【資料2】
- ・水害に遭ってしまったときの復旧に向けたアドバイス資料(全編:抜粋版) 【資料3】

◆講師 日本建築士会連合会災害対策委員(関東甲信越ブロック:長野県) 湯本 和正 様

◆講師プロフィール◆

公益社団法人 長野県建築士会 理事・防災委員長 湯本 和正 様

建築士会連合会 災害対策委員会 オブザーバー
 浸水被害住宅の技術対策マニュアル作成 WG メンバー
 一級建築士(建築士会会員) / 長野県被災建築物応急危険度判定士
 長野県被災宅地危険度判定士

▶災害支援活動経験

昭和59年 長野県住宅部施設課勤務 長野県西部地震災害文部省被災施設査定業務担当
 平成7年 長野県住宅部建築指導課勤務 阪神淡路大震災後の応急危険度判定制度創設担当
 平成19年 長野県北安曇地方事務所商工建築課勤務 新潟県中越沖地震応急危険度判定業務派遣
 平成23年 長野県建設部建築指導課勤務 長野県北部地震発災時応急危険度判定主務担当
 平成26年 長野県建設部都市・まちづくり課勤務 長野県神城断層地震被災宅地危険度判定総括担当
 令和元年 長野県建築士会勤務(事務局長)令和元年東日本台風災害被災者相談業務従事

◆次 第◆

1. 主催者あいさつ

一般社団法人 秋田県建築士会 会長 淡路 孝次

2. 講 義

講師:公益社団法人 長野県建築士会
 理事・防災委員長 湯本 和正 様

- 1) 『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』について テキスト
- 2) 令和元年 東日本台風災害等から学ぶ被災者支援活動の在り方 【資料1】
- 3) 被災者支援建築・住宅相談実務について 【資料2】
- 4) 浸水被害の復旧に向けたアドバイス 【資料3】

3. 質疑応答



当日の説明会は映像記録され、秋田県建築士会ホームページから動画講習（無料）が可能であり、更に多くに建築士に啓発することとしております。尚、テキストは秋田県建築士会本部及び地域建築士会事務局にて無料で配布しております。

○相談窓口への協力

- ・（一財）秋田県建築住宅センターが事業主体となって国の補助金を活用し、『あきた浸水被害住宅相談』体制を整備する。10月1日の窓口設置。

現地相談員として、現在13名の登録があった。（内、秋田市6名）

→ 秋田市南通において、現地相談を行った。

○五城目町への支援

- ・ 8月22日、災害救助法に基づく「応急修理」申請書類に添付される見積書の確認作業（約400件程度）に対する人的派遣要請があった。

会員3名（秋田中央建築士会）を選定して、8月31日に役場側と作業内容の打ち合わせを行った。事前に添付書類等の情報発信をしていないことから、既に提出された見積書を見ると工事範囲や部位が特定できないものがほとんどで、現状では確認作業が困難であることがわかった。

町民に見積書作成要領を早急に周知する必要があることから、役場から対象になる工事等の情報を元に建築士会が指定様式の策定を行っているところである。12月21日現在、作業中である。

◆建築士会 CPD 制度について◆

経営事項審査の審査基準の改定により、継続教育（CPD）が評価対象として加点されることとなりました。その組織に所属する CPD 参加者が一定の単位を修得した場合（12 単位 / 年）に加点することができます。この機会に建築士 CPD 制度に参加しませんか。

また、参加者の皆様には、次年度の更新について地域会を通じてご案内しております。

1. 参加登録方法

建築士会 CPD 制度に参加を希望する建築士等は、各地域建築士会で所定の手続きと所定の費用を納めて参加登録をします。

2. 参加申込書、及び CPD カードの作成申込書

建築士会で定める「建築士会 CPD 制度参加登録申込書」（様式 1 及び様式 2）に必要事項を記入の上、建築士会の定める費用を添えて申し込みます。

◆費用一覧◆（税込）

費用	内容	会員	非会員
①初期登録費	サーバーに個人履歴を蓄積可能とする設定費。 【参加初年度のみ】	0円	1,100円
②データ登録・管理費	研修プログラムの出席データの登録およびそれら履歴を適正に管理するための費用。【毎年、必要】	550円	2,750円
③ CPD カード発行費	研修プログラムにおける出席データ登録のために必要な CPD カードの 1 枚あたりの作成費用。【原則 1 人 1 枚発行】	770円	1,650円
④ CPD 実績証明書発行費	個人履歴に基づき、証明書の交付を受けるための 1 通あたりの費用。	550円	1,100円
⑤事後申請データ登録費	CPD プログラムの認定は、事前認定が原則ですが、特例として建築士会が認める場合に、個人の申告により CPD 単位を申請し、単位認定を受けるための費用。【1 申請 1 プログラム当たりの費用】。	550円	1,650円
⑥建築 CPD 情報提供制度利用費	建築 CPD 情報提供制度（事務局：（公財）建築技術教育普及センター）の活用を希望する場合にかかる費用。 【毎年 1 回必要であるが、秋田は初回のみ】	550円	550円

◆参考：『建築士会 CPD 制度参加者ガイドライン』日本建築士会連合会

（一社）秋田県建築士会の HP よりダウンロードしてください。

◆参加登録後に、個人の CPD 番号とパスワードが発行され、CPD 情報システムが活用することができます。

◆既存住宅状況調査技術者講習会【更新講習】◆

去る10月25日、既存住宅状況調査技術者講習会【更新講習】を開催いたしました。

- ・日 時 令和5年10月25日（水） 13：25～16：50
- ・場 所 秋田テルサ 5階 第3会議室
- ・受講者 37人

既存住宅状況調査技術者登録者は、3年毎に更新講習の受講が必要です。令和元年度に受講した方は、令和5年3月31日で期限が終了します。受講されていない方は、（公社）日本建築士会連合会のオンライン学習を受講してください。

新規に受講される方も同様です。

【講習の申込先】（公社）日本建築士会連合会ホームページより申込みとなります。

◆秋田県耐震診断技術者の登録（更新）について◆

秋田県では、木造住宅の耐震化の促進に向けて、住宅を所有する方が安心して耐震診断を受けられるように、耐震診断を実施する上で必要な知識・技能を有する建築士を「耐震診断技術者」として登録し公開しております。

令和6年3月31日で登録期限を向かえる方は更新手続きが必要となりますので、忘れずに更新してください。

◇登録窓口 秋田県建設部 建築住宅課 建築指導班 電話：018-860-2565

URL：<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/22034>

忘れてませんか！ 建築士定期講習のお知らせ

平成20年11月28日施行の改正建築士法により、建築士事務所に所属するすべての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を3年以内ごとに受講しなければなりません。

建築士事務所に所属する方で、令和2年度に建築士定期講習を修了した方及び令和2年度以前に建築士試験に合格し建築士として登録した方でまだ受講していない方は、令和5年度中に当該建築士定期講習を受講しなければなりません。

今回は令和5年度の最後の講習になりますので是非受講をお勧めします。

第4回定期講習（1E-04）

と き：令和6年3月6日(水)

ところ：秋田テルサ 5階 第1会議室

募集期間：令和6年2月15日 締切

登録講習機関 公益財団法人 建築技術教育普及センター

受付機関 （一社）秋田県建築士会 事務局

受講申込書を希望する方は、事務局までお問い合わせ下さい。

電話 018-827-3718 FAX 018-827-3873

編集後記

由利建築士会 正木和美

あけましておめでとうございます。

令和5年建築士会活動を振り返ると、6月の通常総会に始まり、「建築士の日」のイベント、会員ボーリング大会、そして9月には秋田県建築士会大会～由利大会～が開催されました。

初開催のボーリング大会は参加した由利建築士会メンバーの中ではすこぶる好評でした。「由利建築士会でも行おう」とか「次回に向けて練習しよう」とか「由利大会のアトラクションはボーリング！！」とか言って盛り上がっていました。（さすがに由利大会でのボーリングはなかったですが・・・）

そして今年（令和6年）。

令和7年の法規改正に対応するための準備の年。

今までも講習会を受講したりインターネットで情報を集めたりしましたが・・・手続き、基準、審査等いろいろと変わり、また、それに伴う関連法規、手続き、基準も変わり作業量も増えそうです。法規施工時に慌てないようこの一年で内容を理解し、対応できるよう準備していこうと思っています。

さて、新年が明けた令和6年ですが、我々の毎日の業務が順調なのは勿論ですが、昨年のような豪雨災害もなく、連日の強烈な猛暑もなく、感染症も収束し、日々穏やかに暮らせる一年になればと願っています。

令和6年辰年、秋田県建築士会の益々の繁栄と、会員皆様のご活躍並びにご多幸を祈念しまして編集後記を締めさせていただきます。

第45回日本建築士会大会—総利大会—
 (秋田県建築士会 創立70周年記念大会)



令和5年9月32日(土) 交車温泉

令和5年度 建築地産学舎
 ～山村大会～エクスカーション



令和5年10月1日(日) 青森山本の杉右卫門邸・雄勝寺



第 65 回建築士会全国大会「しずおか大会」 静岡グランシップにて

あきた建築士会ニュースNo.161 (2024年1月号)

発行／一般社団法人秋田県建築士会 住所／〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 秋田アトリオンビル5階(一財)秋田県建築住宅センター内 電話／018-827-3718
編集／一般社団法人秋田県建築士会事務局 発行日／令和6年1月19日 印刷／秋田協同印刷株式会社